

ヨドガレージ ラヴィージュⅢ
ドレストオプション

天井材 組立説明書

施工業者の方へ

組立説明書は大切な書類です。

本書は必ずお客様にお渡しください。

注意

① 組み立て完了後は必ず切粉を取り除いてください。

② 安全のため必ず手袋を着用してください。

1. 天井上枠（側）の取付け

① 天井上枠（側）を本体の上枠左右に取付けます。

機種・サイズによって「天井上枠（側N）」「天井上枠（側S）A」は長さが変わります。

切欠き形状を目印に、下図を参考にして配置してください。

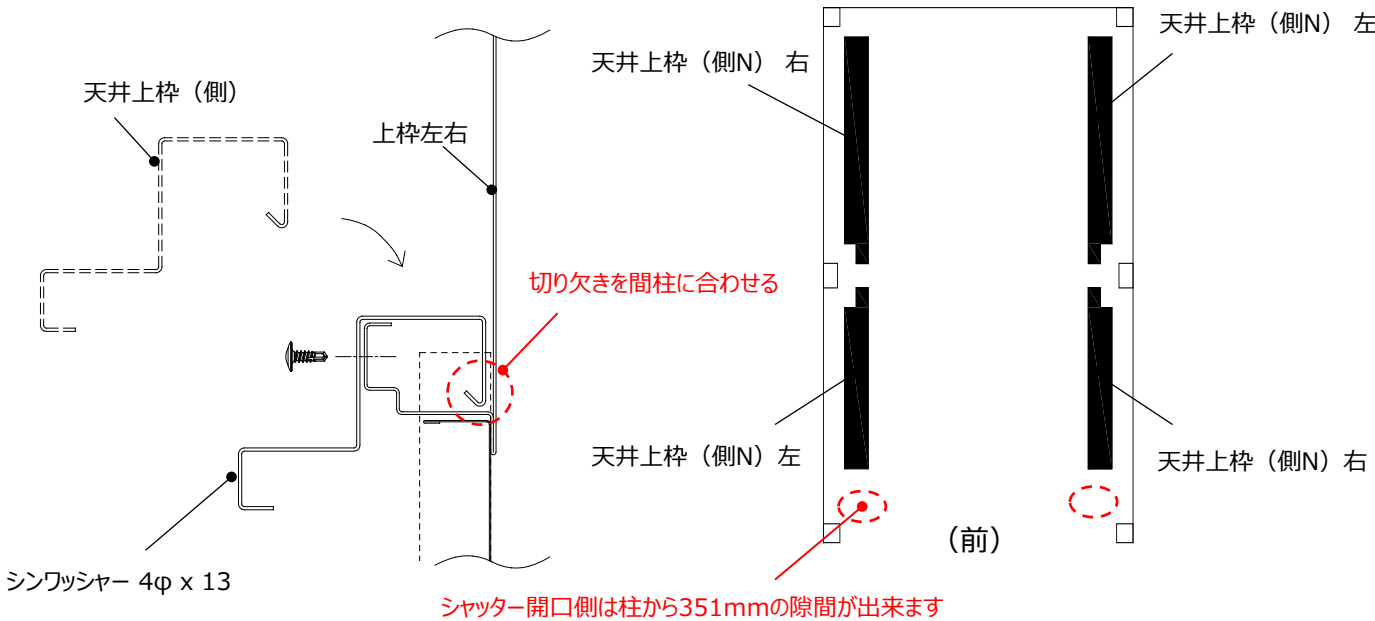
後面シャッターが取付く場合は天井上枠の加工が必要になりますので、
9 ページ以降の補足説明をご確認ください。

単棟タイプの場合は、工程 4 から次工程が始まります。

工程 2 Aは連棟（一本梁）タイプに取付ける場合に必要です

工程 2 Bは連棟（間仕切り・中間ブレース）タイプに取付ける場合に必要です。

配置図
（一般地型の場合）

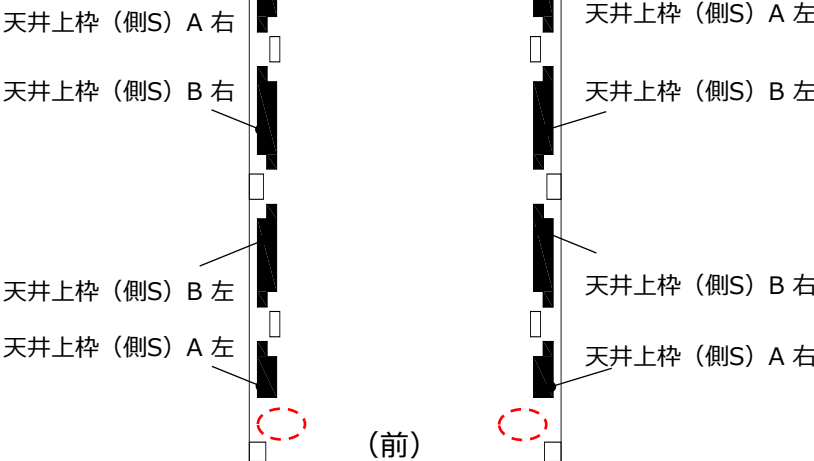


（豪雪地型の場合）

天井上枠 部材寸法

	本体奥行	前側		後側	
		mm	mm	mm	mm
一般地型	52	2098.5	mm	2449	mm
	55	2449	mm	2449	mm
	59	2449	mm	2799.5	mm
	62	2799.5	mm	2799.5	mm
豪雪地型	52	684+1414.5	mm	1034.5+1414.5	mm
	55	1034.5+1414.5	mm	1034.5+1414.5	mm
	59	1034.5+1414.5	mm	1385+1414.5	mm
	62	1385+1414.5	mm	1385+1414.5	mm

※目隠しが付く場合は、前側が+ 350mmとなり
隙間は出来ません

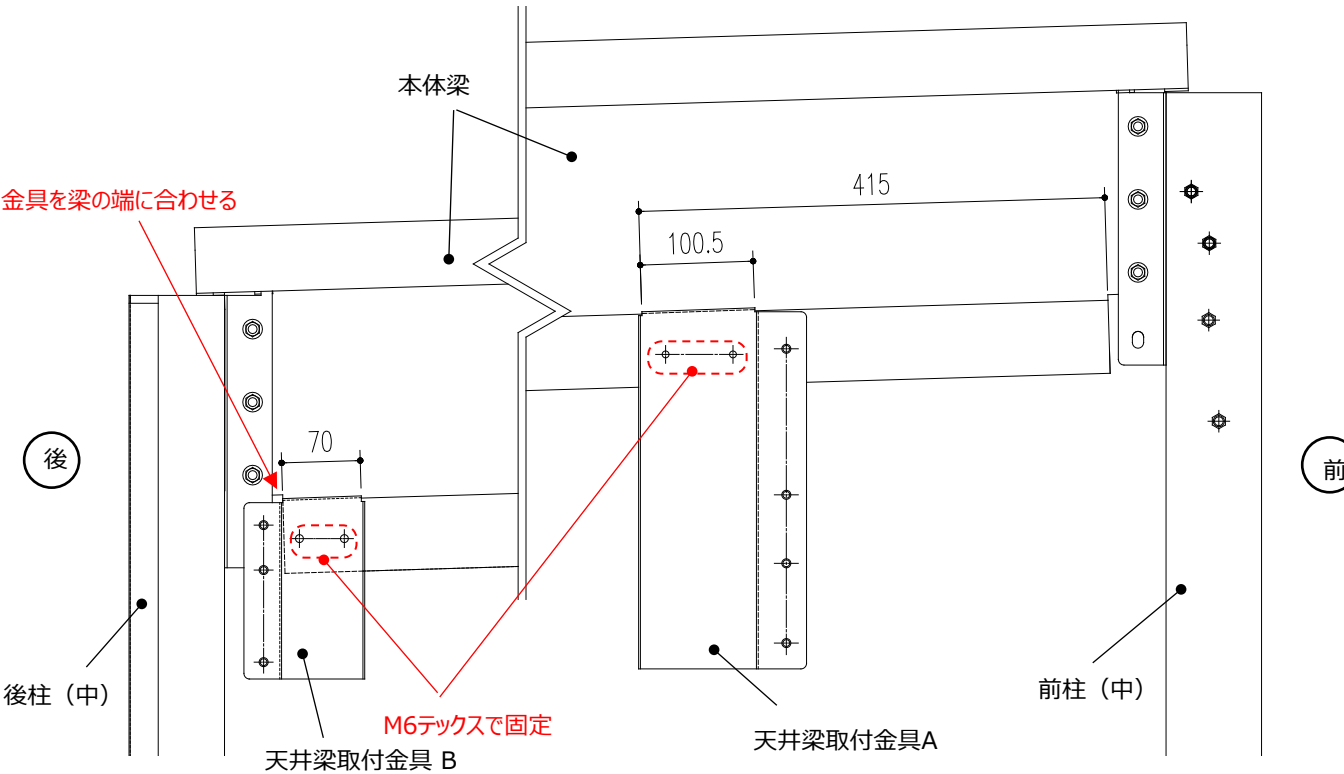


2A-1. 天井梁取付金具の取付けの取付け【連棟：一本梁タイプ】

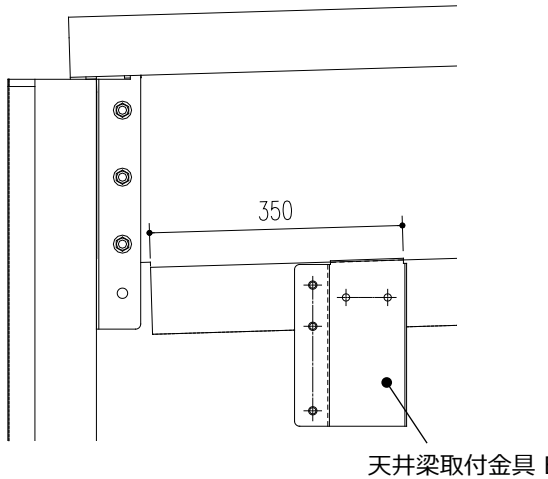
① 天井梁取付金具 A、B を本体梁に取付けます。

下図を参考に、それぞれ梁の端部から指定の位置に取付けてください。（一般地型、豪雪地型で共通の位置です）

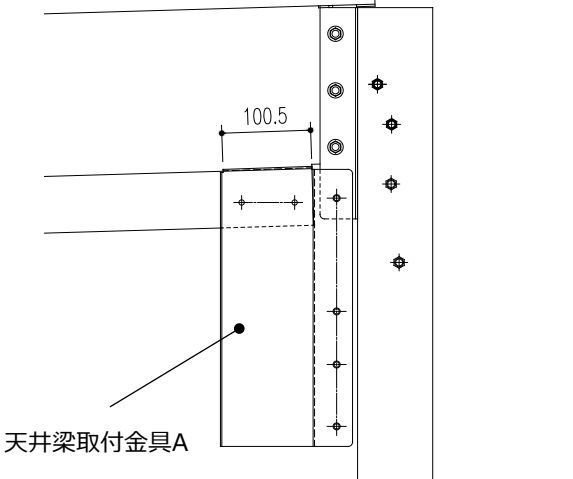
部材には左右がありますので注意して下さい。



後面シャッターが取付く場合は天井梁取付金具 B の位置を
下記のように変更してください。

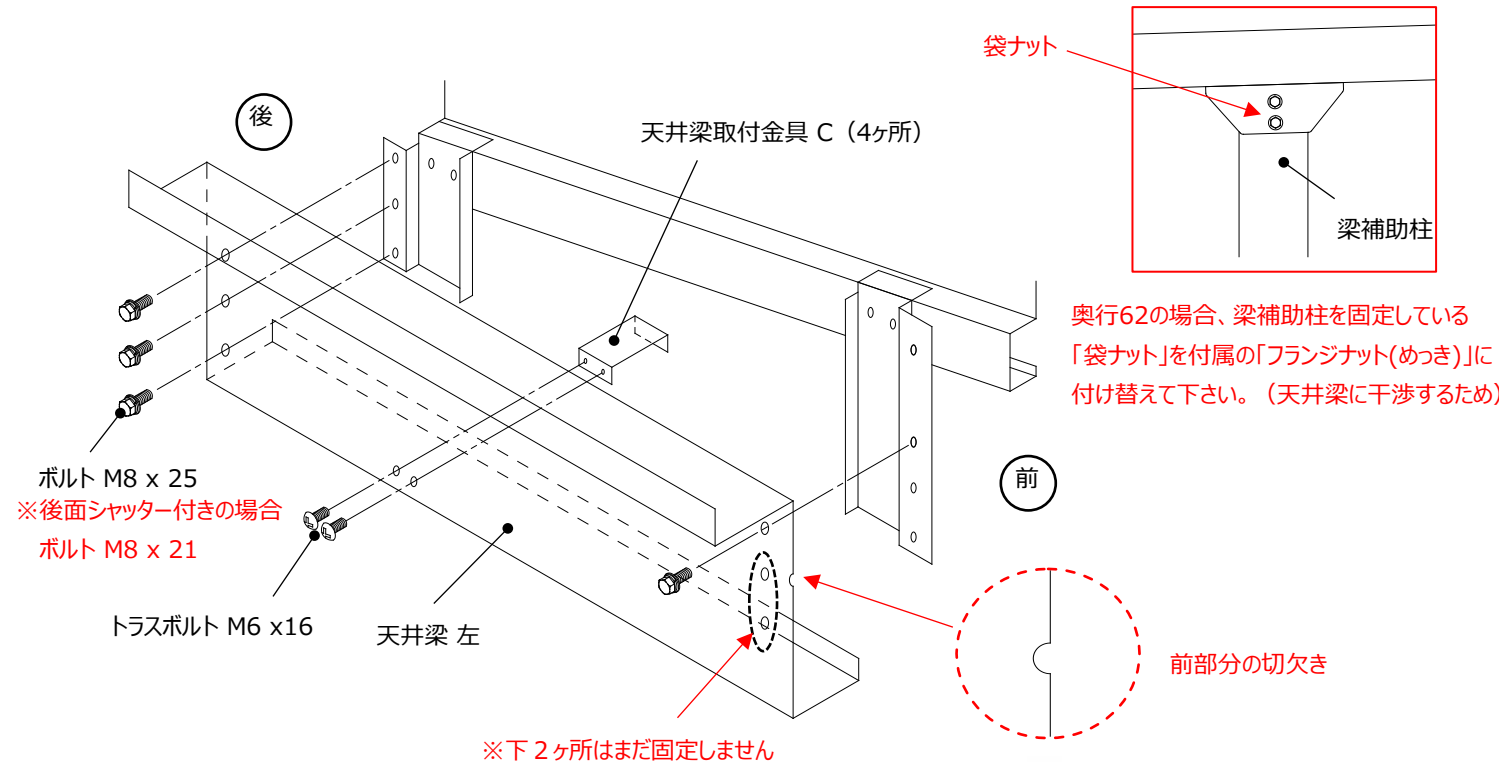


目隠しが取付く場合は天井梁取付金具 A の位置を
下記のように変更してください。



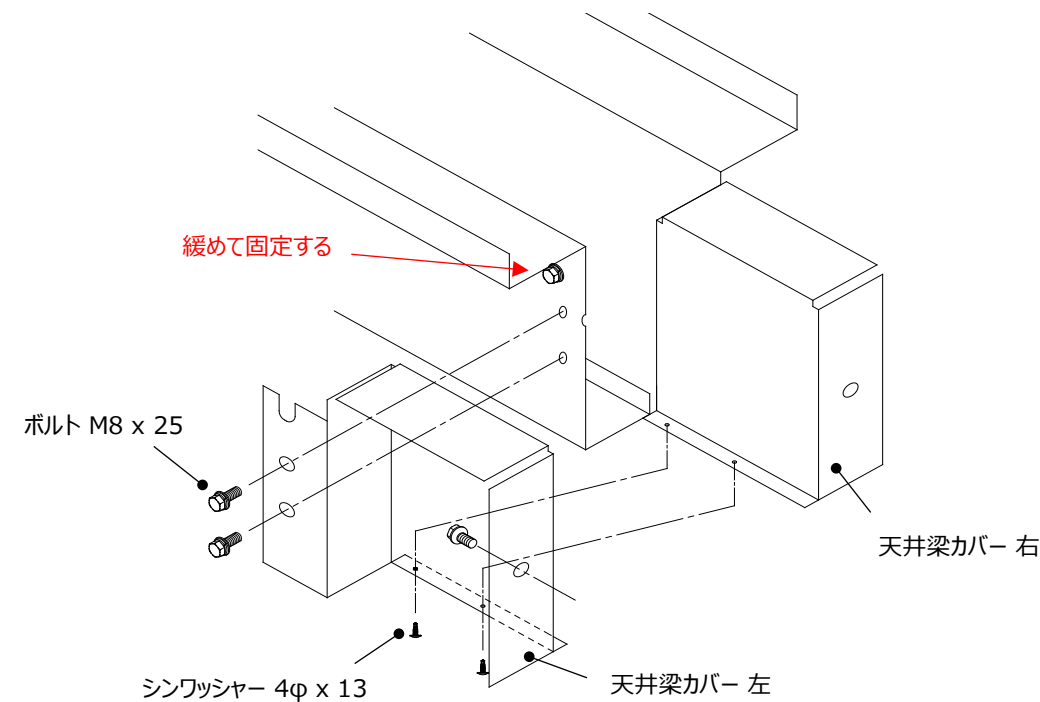
2A-2. 天井梁取付金具の取付けの取付け【連棟：一本梁タイプ】

- ① 天井梁（左）を天井梁取付金具 A、Bに取付けます。
前部分は1番上の孔のみボルト固定します。
天井梁は部材に左右、前後がありますので、切欠きがある方を正面シャッター側にしてください。
- ② 天井梁取付金具 Cを天井梁（左）に取付けます。
- ③ 天井梁（右）を天井梁取付金具 A、B、Cに取付けます。



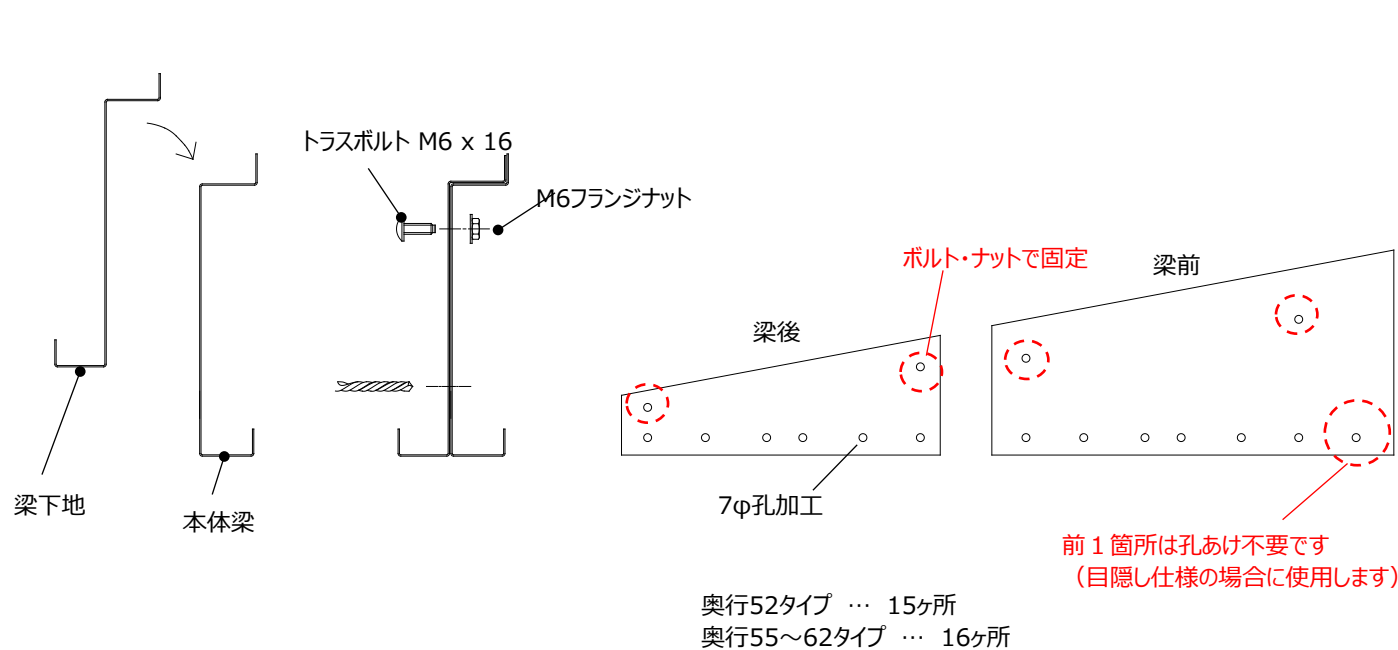
2A-3. 天井梁カバーの取付け【連棟：一本梁タイプ】

- ① 天井梁カバーを天井梁、シャッターレールに取付けます。
前柱中とシャッターレールを固定しているボルトは一旦取り外してから固定し直してください。
※ 本体が目隠し仕様の場合は天井梁カバーは不要です。



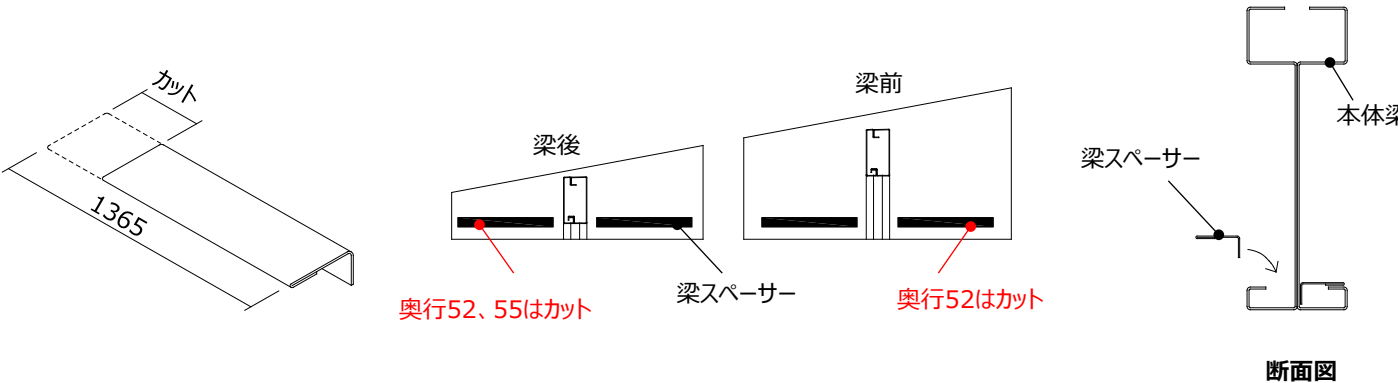
2B-1. 梁下地の取付け【連棟：間仕切り・中間ブレース】
【一般地型の場合のみ】

- ① 梁下地を本体の梁前、梁後に設置します。(ボルトで固定しません)
- ② 梁下地の孔に合わせ、本体の梁に7φ孔加工を行います。
- ③ 梁下地と本体梁を上側4ヶ所ボルト・ナットで固定します。



2B-2. 梁スパーサーの設置【連棟：間仕切り・中間ブレース】
【豪雪地型の場合のみ】

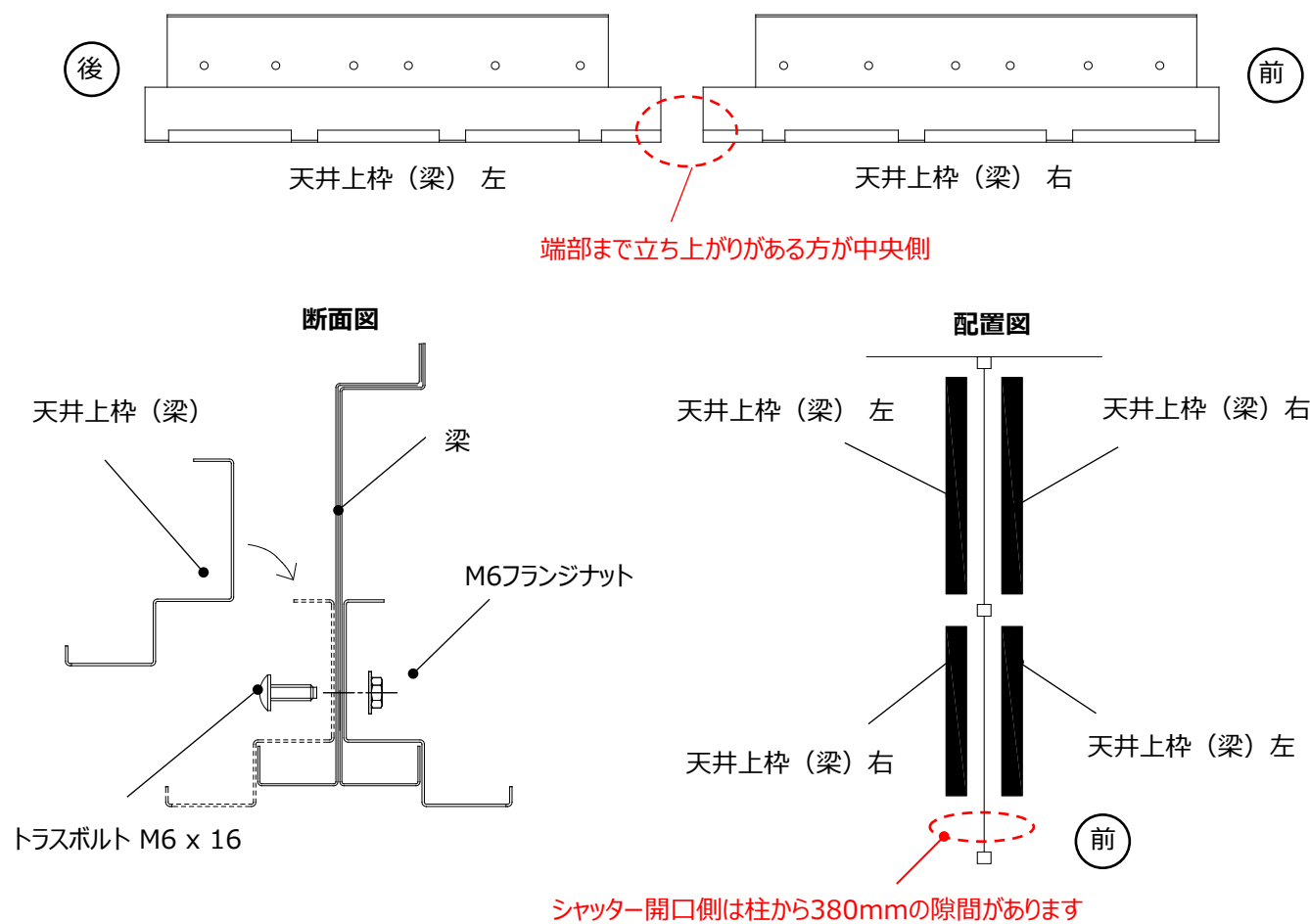
- ① 梁スパーサーを本体の梁前、梁後に設置します。(固定しません)
- 奥行52、55タイプは 梁スパーサー を下の表にしたがってカットします。



本体奥行	単必要加工本数	カット寸法
52	4	3233 mm
55	2	2882 mm
59	0	2532 mm
62	0	1831 mm

2B-3. 天井上枠（梁）の取付け **【連棟：間仕切り・中間ブレース】**
【一般地型の場合のみ】

- ① **天井上枠（梁）** を本体梁、梁下地に取付けます。
天井上枠（梁） は前後がありますので注意してください。
奥行きによって部材長さが変わりますので、下表を参考に取付けてください。

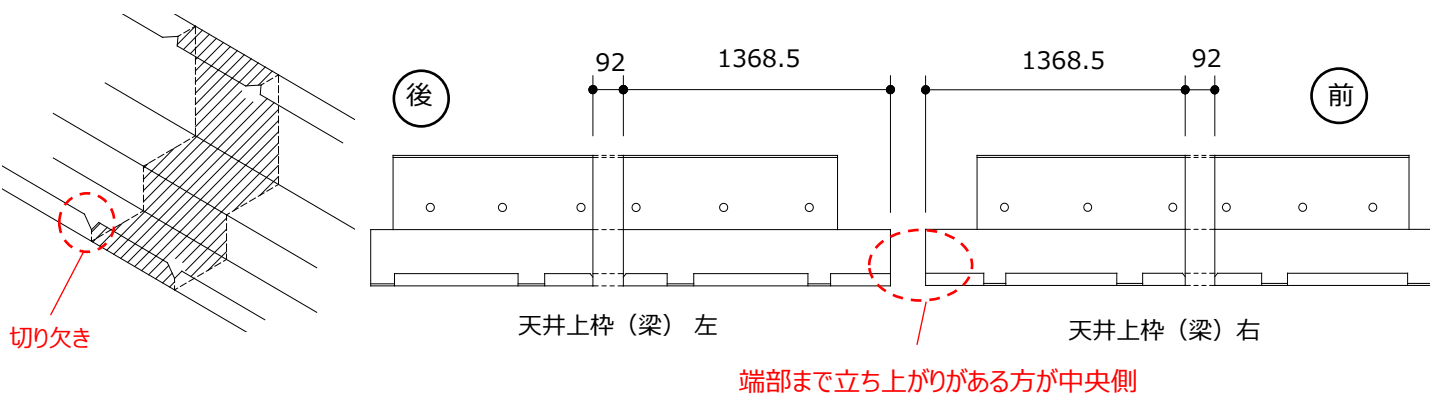


天井上枠（梁）寸法表

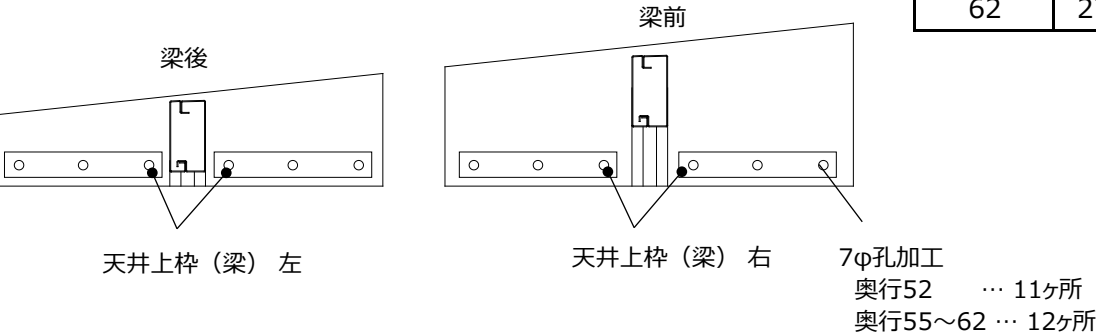
本体奥行	前側	後側
52	2098.5 mm	2449 mm
55	2449 mm	2449 mm
59	2449 mm	2799.5 mm
62	2799.5 mm	2799.5 mm

2B-4. 天井上枠（梁）の加工・取付け **【連棟：間仕切り・中間ブレース】**
【豪雪地型の場合のみ】

- ① **天井上枠（梁）** をカットします。（部材は一般地型と共通です）
△の切り欠きに合わせて、4本すべて2分割して下さい。（カットした分は不要ですので廃棄して下さい）
部材の配置は一般地型と共通です。

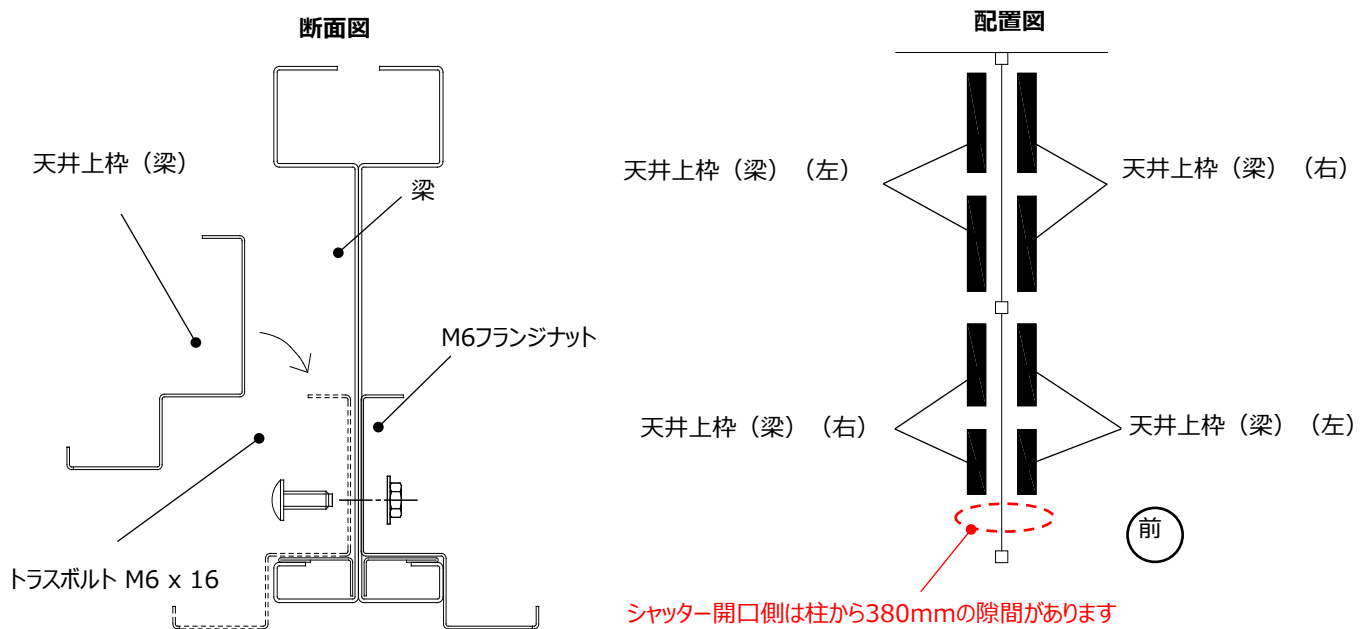


- ② 分割した **天井上枠（梁）** を本体梁に仮置きし、
天井上枠（梁） の孔に合わせて本体梁に7φ孔加工を行います。



本体奥行	前側	後側
52	2098.5 mm	2449 mm
55	2449 mm	2449 mm
59	2449 mm	2799.5 mm
62	2799.5 mm	2799.5 mm

- ③ **天井上枠（梁）** を本体梁に取付けます。

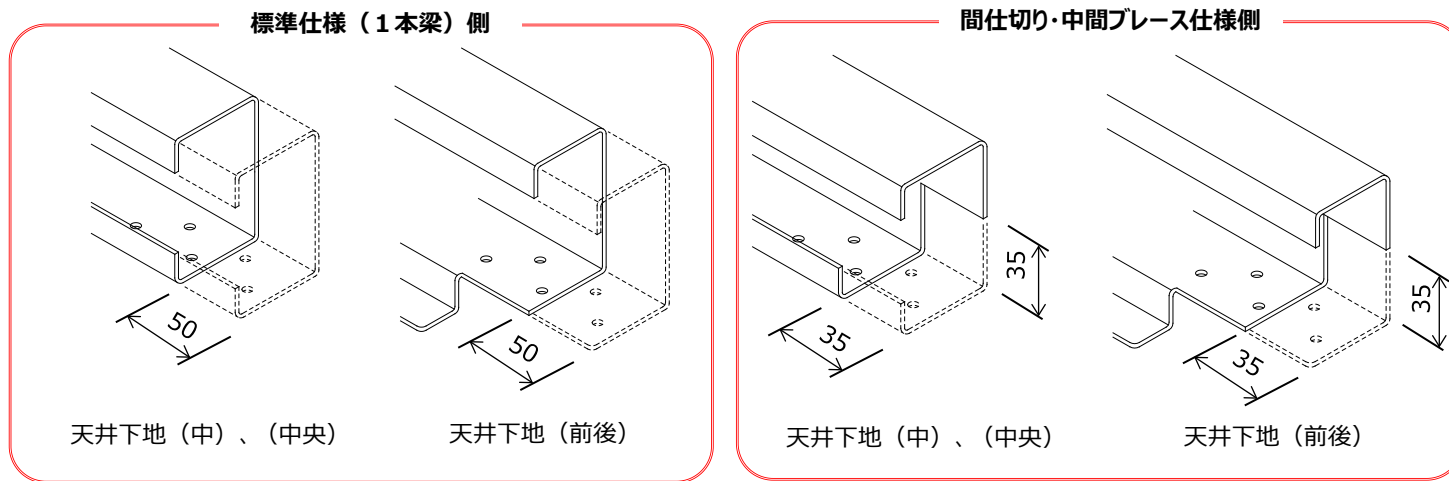


3. 天井下地の加工 【連棟の場合のみ】

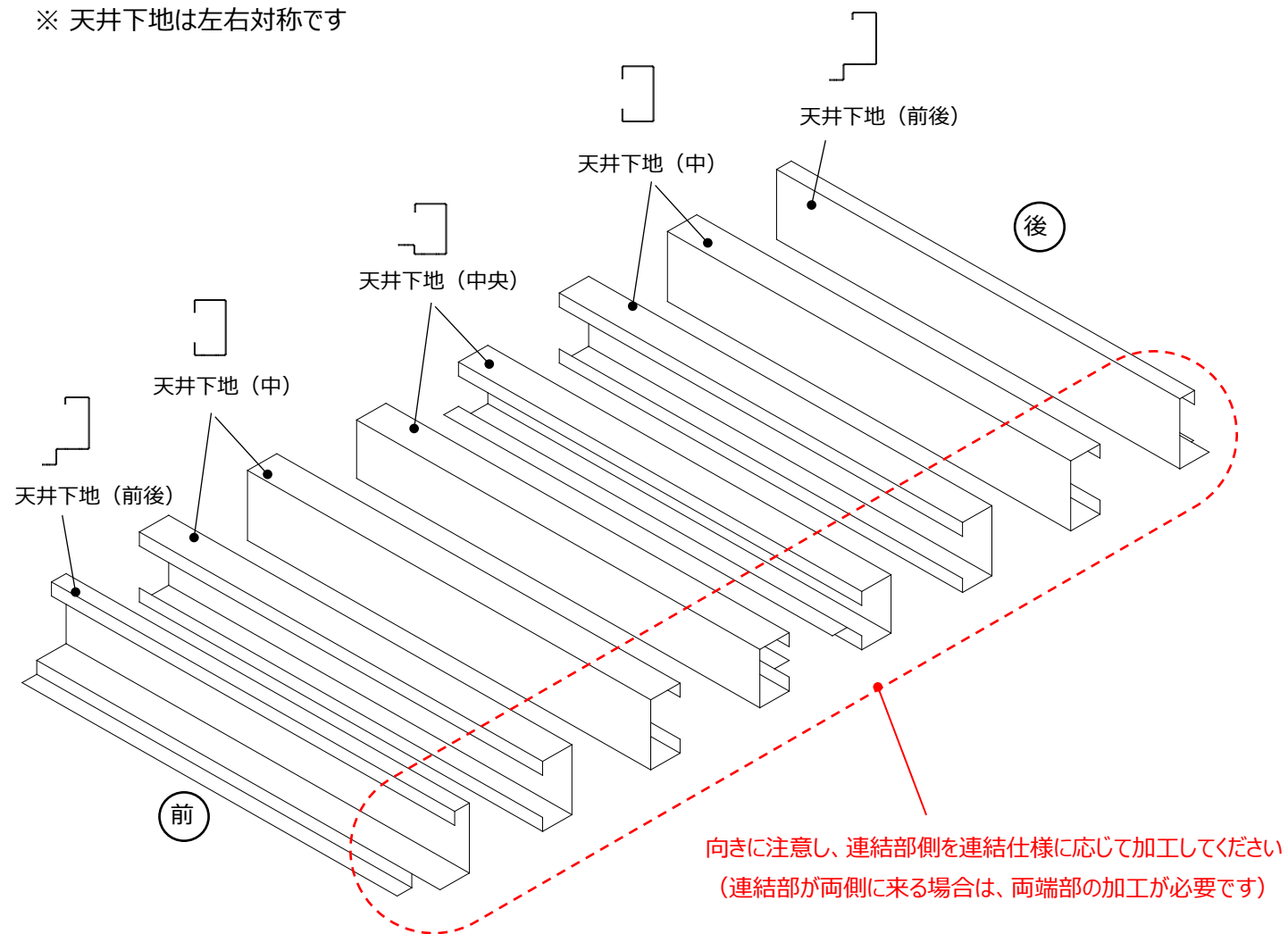
- ① 連棟の場合、**天井下地（中）**、**（前後）**、**（中央）** の連棟側の端部を下图のように切欠きます。
部材の向きに注意し、配置図を参考に加工して下さい。



切欠き位置・寸法を間違えると取付け出来ませんので注意してください。

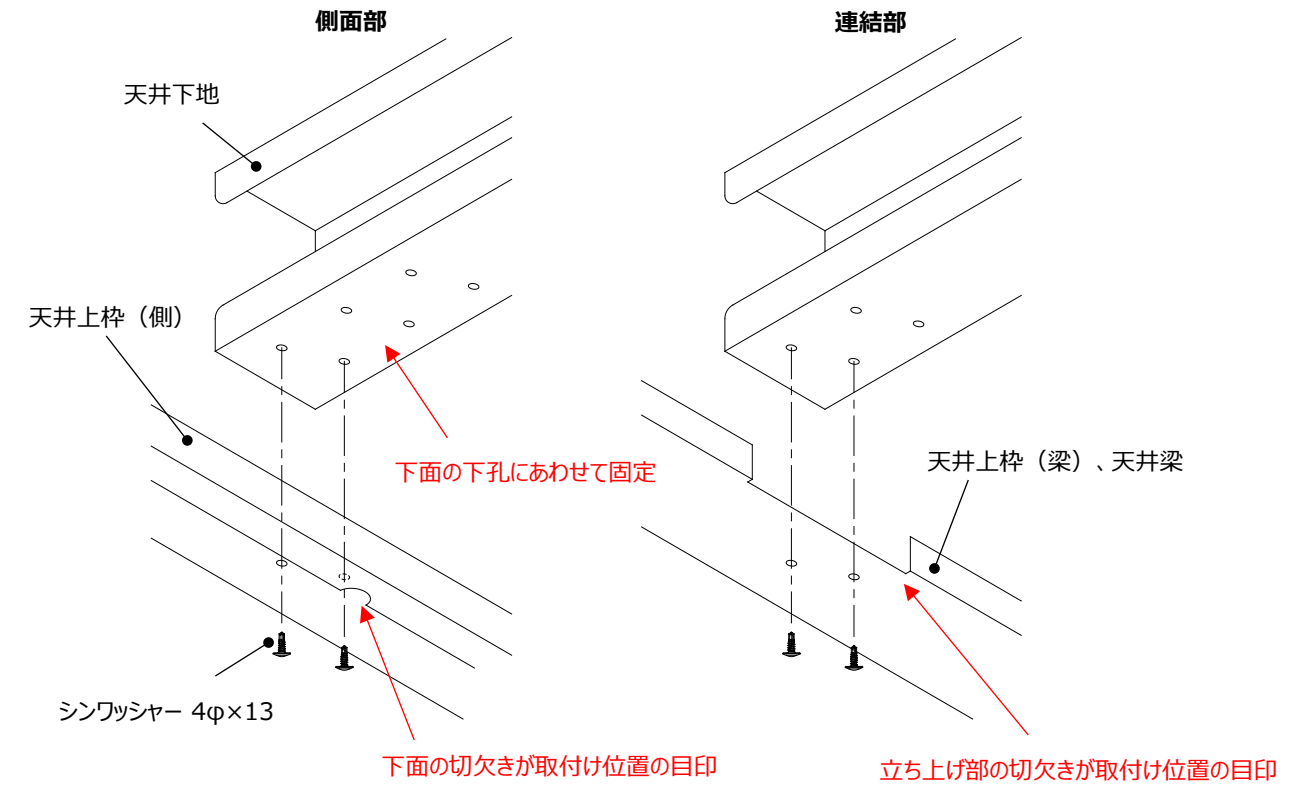


※ 天井下地は左右対称です



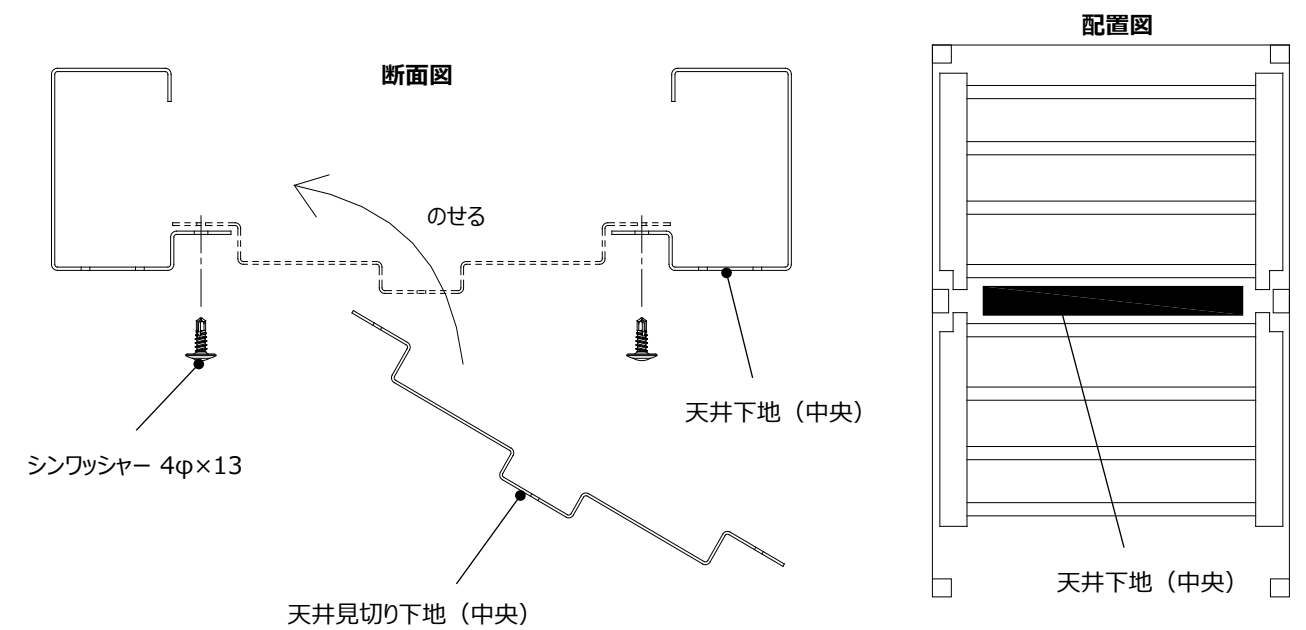
4. 天井下地の取付け

- ① **天井下地（中）**、**（前後）**、**（中央）** を天井上枠（側）に取付けます。
連棟の場合は、天井上枠（中）、天井梁にも同様に取付けます。
部材には前後の向きがありますので、工程4の配置図を参考に取付けてください。
※ 後面シャッターが付く場合は、後側の天井下地（前後）は追加加工した6φ孔で固定してください。



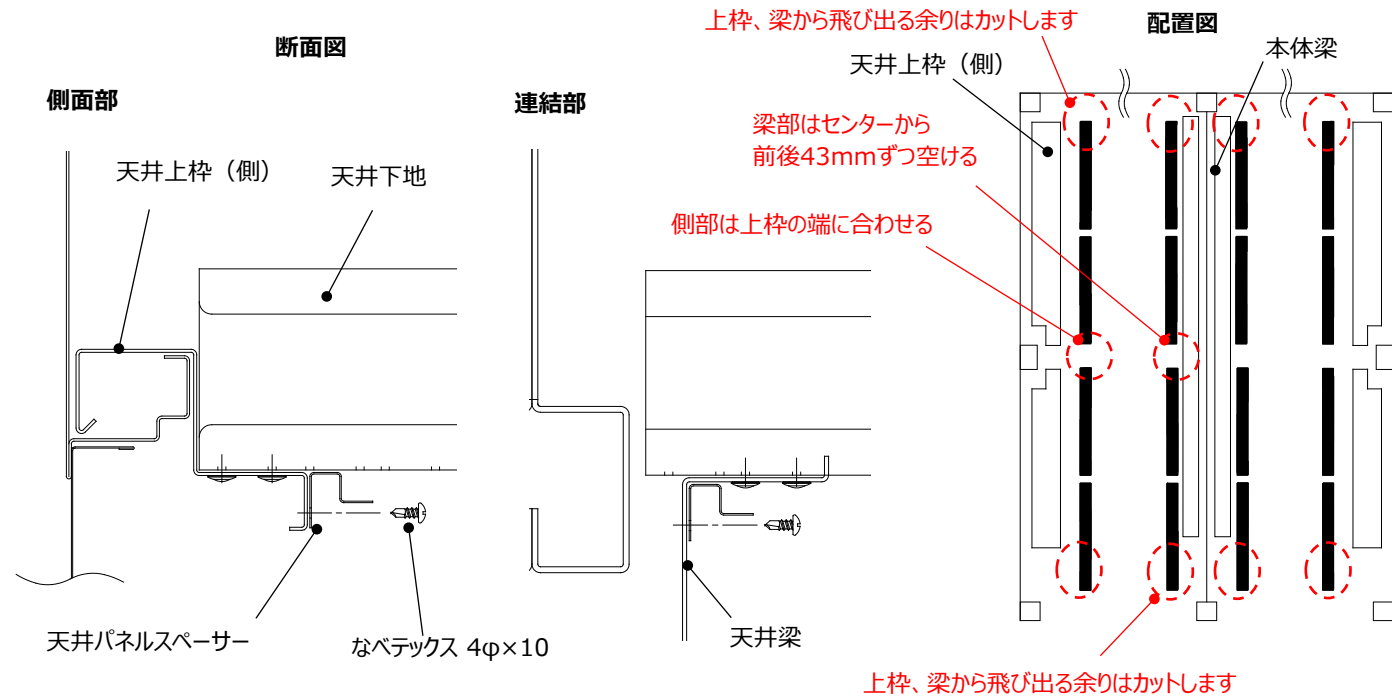
5. 天井見切り下地（中央）の取付け

- ① **天井見切り下地（中央）** を天井下地（中央）に取付けます。



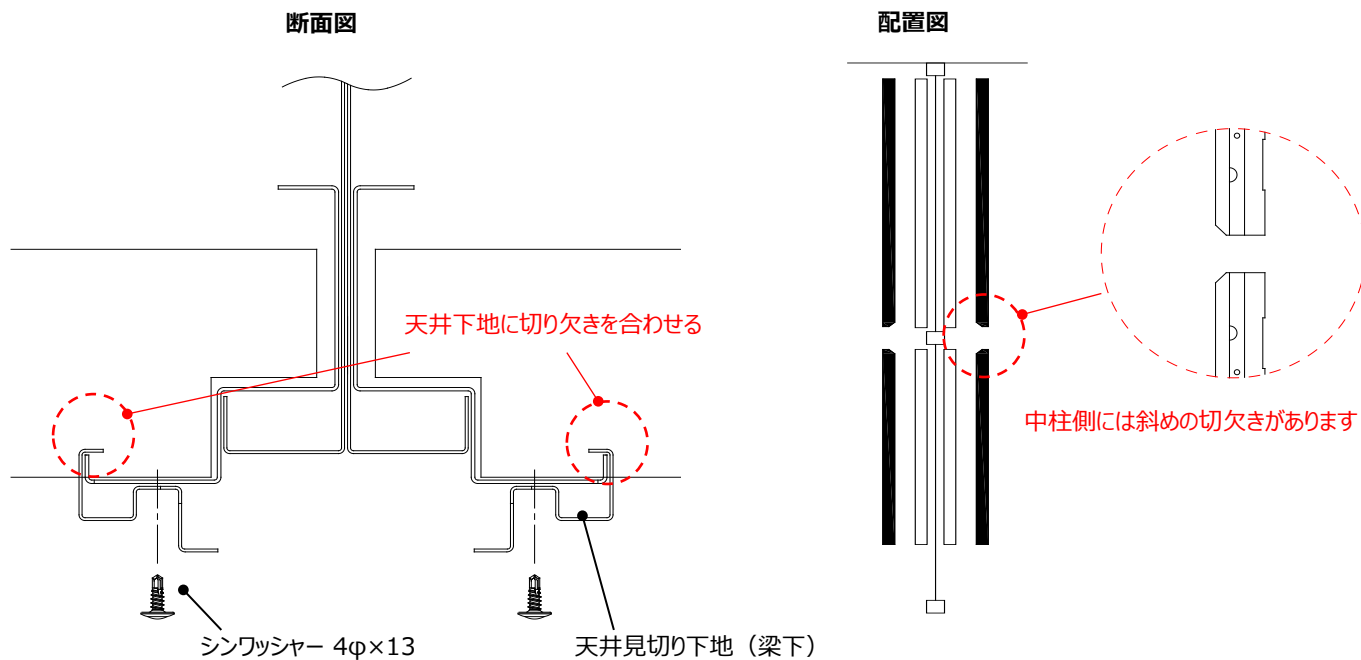
6-1. 天井パネルスパーサーの取付け

- ① **天井パネルスパーサー** を天井上枠（側）に取付けます。連棟の場合は天井梁にも取付けます。
天井上枠（側）、天井梁に下孔はありませんので、図のように天井下地、天井梁に押し当てて取付けてください。
本体センターから前後に取付けていき、余った部分はカットしてください。



6-2. 天井見切り下地（梁下）の取付け

- ① **天井見切り下地（梁下）** を天井上枠（梁）に取付けます。
奥行きにより部材長さが異なりますので、天井上枠（梁）の長さと同じ部材を取付けてください。



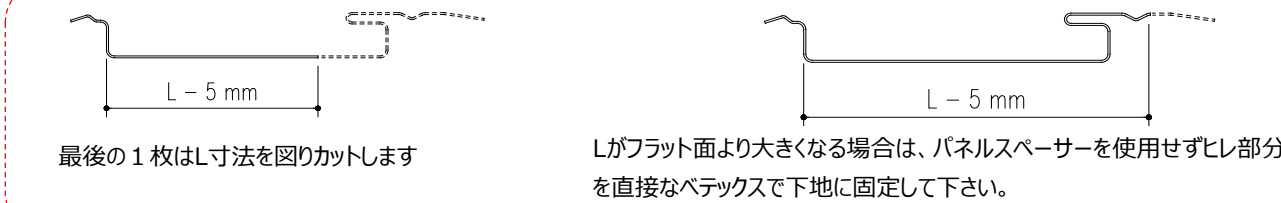
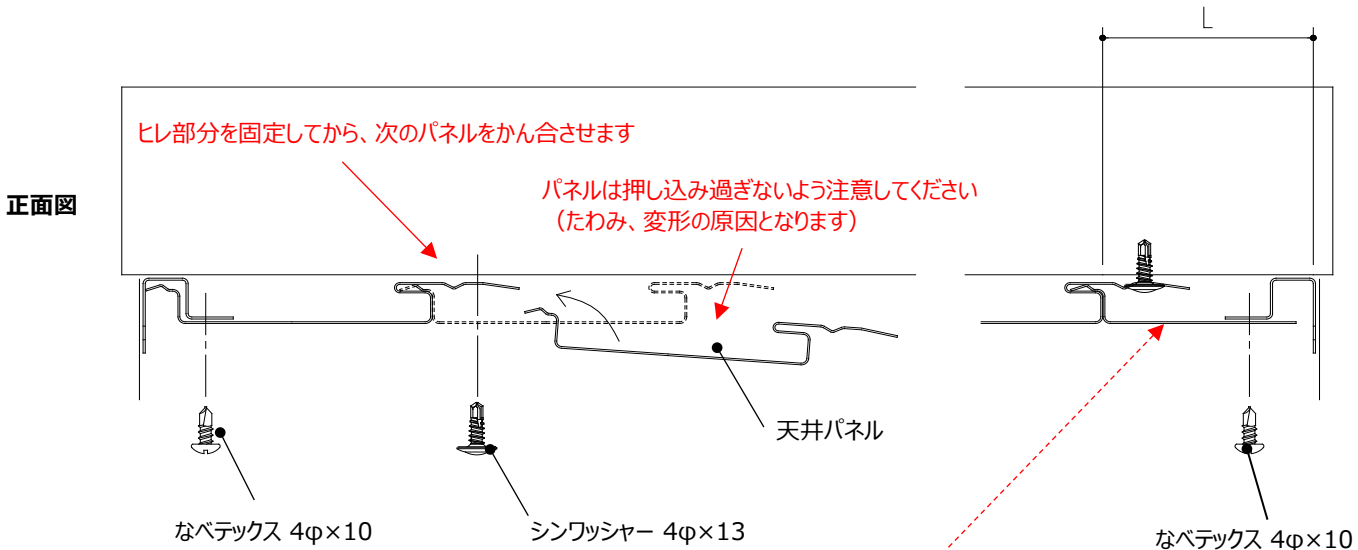
電気配線は「工程7 天井パネルの取付け」の前に行ってください。
電気工事は資格が必要です、最寄りの電気工事店へ依頼してください。

7-1. 天井パネルの取付け

- ① **天井パネル** を天井パネルスパーサーに取付けます。
天井パネルの張り始めは左右どちらからでも問題ありません。
② **天井パネル** を天井下地（中）、（前後）、（中央）に取付け、次のパネルをかん合させます。
目地に隙間が生じないように注意して取付けてください。
③ 末端の1枚は下図を参考に寸法を図りカットして取付けます。

⚠ 天井パネルは本体の桁に取付けしないよう注意してください。

⚠ 天井面に照明等を取り付ける場合は、天井下地に器具を固定してください。



パネル寸法表

本体奥行	前側	後側
52	2120 mm	2470 mm
55	2470 mm	2470 mm
59	2470 mm	2820 mm
62	2820 mm	2820 mm

パネル枚数表

本体間口	前側枚数
19	24
26	34
39	40
33	44

- 目隠しが付く場合は、前側が+350mmとなります
- 後面シャッターが付く場合は、後側が-350mmとなります

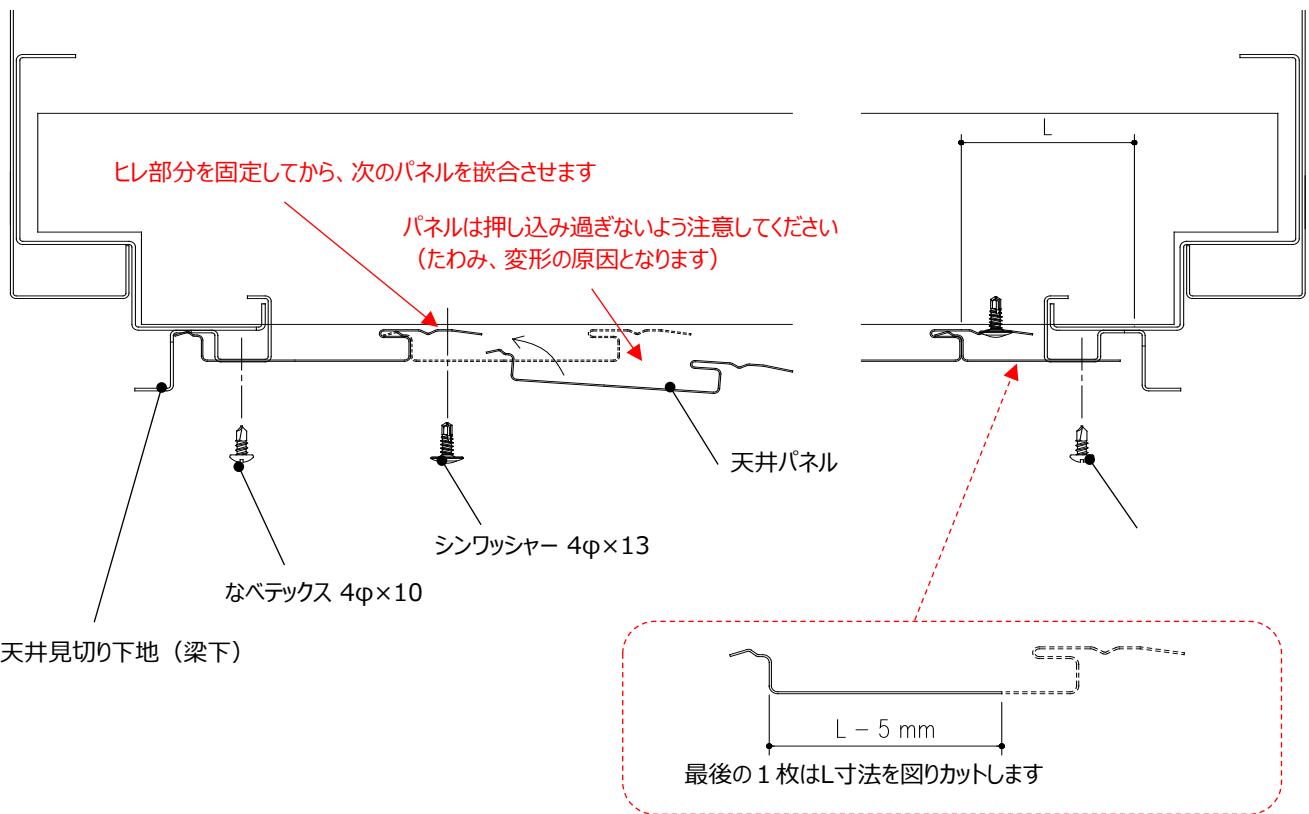
7-2. 天井パネルの取付け

【連棟：間仕切り・中間ブレースのみ】

- ① 天井パネルを天井見切り下地（梁下）に取付けます。
天井パネルの張り始めは左右どちらからでも問題ありません。
- ② 天井パネルを天井下地（中）、（前後）、（中央）に取付けます。
目地に隙間が生じないように注意して取付けてください。
- ③ 末端の2枚は下図を参考に寸法を図りカットして取付けます。

⚠ 天井パネルは本体の桁に取付けしないよう注意してください。

⚠ 天井面に照明等を取り付ける場合は、天井下地に器具を固定してください。



パネル寸法表

本体奥行	前側	後側
52	2120 mm	2470 mm
55	2470 mm	2470 mm
59	2470 mm	2820 mm
62	2820 mm	2820 mm

パネル枚数表

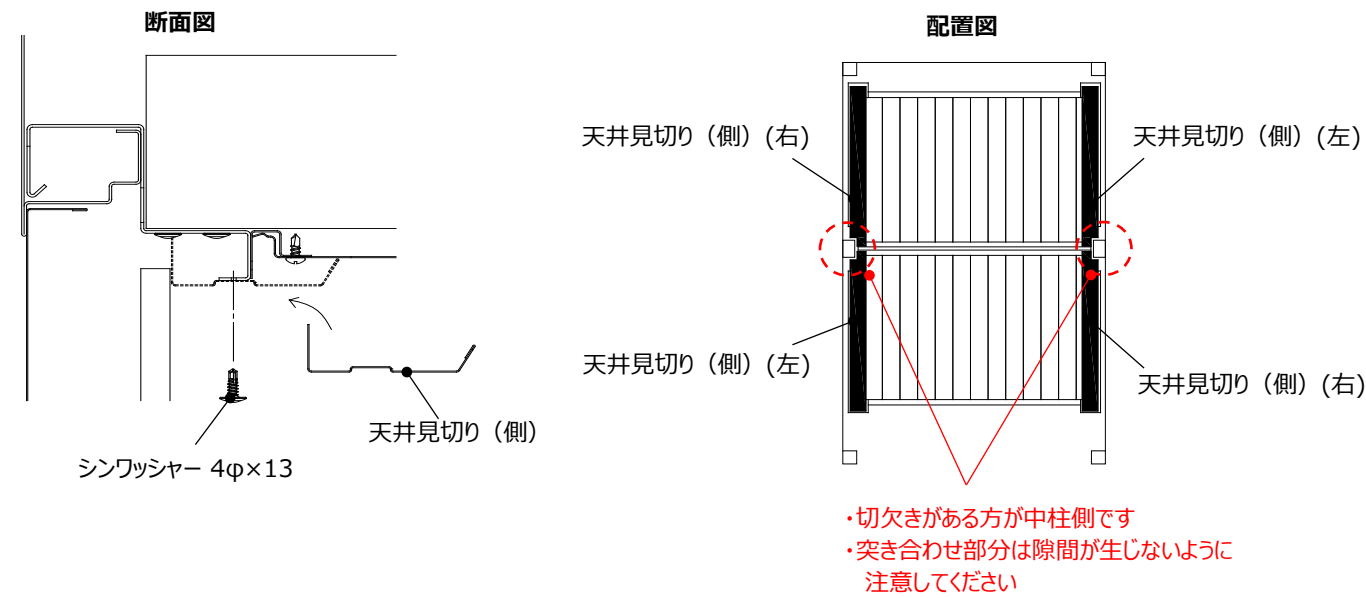
本体間口	前側枚数
19	24
26	34
39	40
33	44

- ・目隠しが付く場合は、前側が+350mmとなります
- ・後面シャッターが付く場合は、後側が-350mmとなります

8-1. 天井見切り（側）の取付け

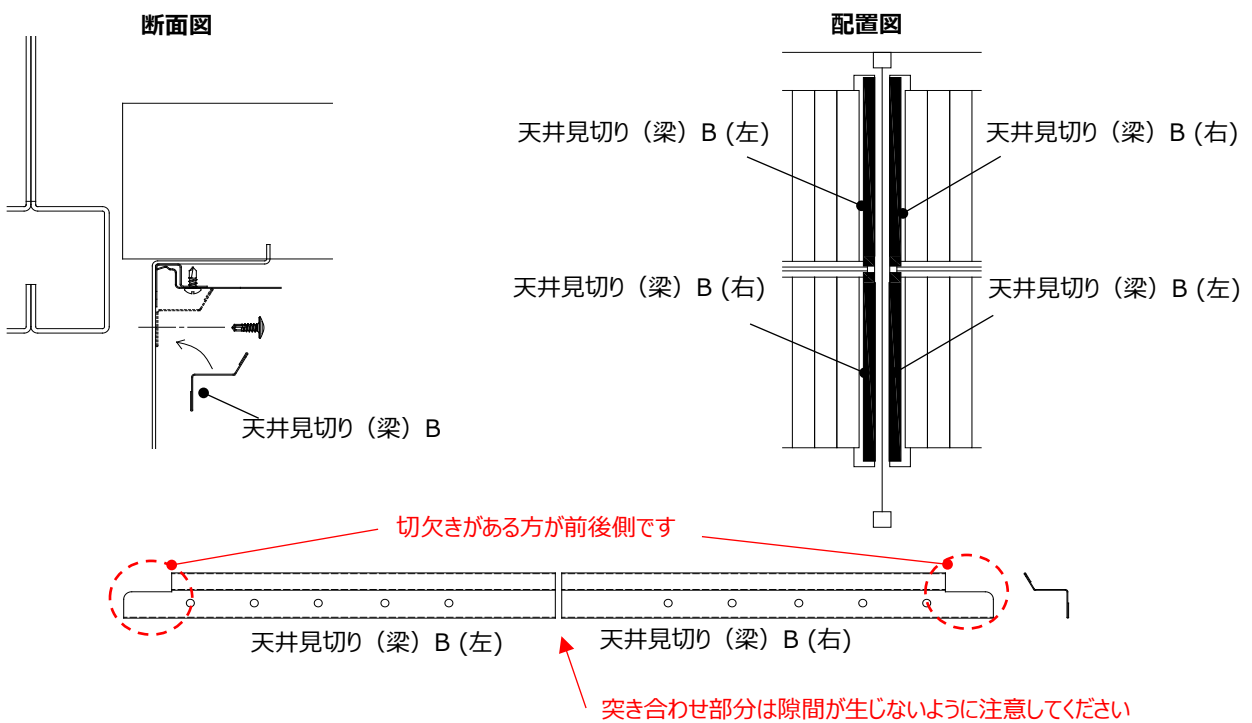
内装材を取り付ける場合は、以下の工程に進む前に「スパン材」「縦見付け」の取付けを完了して下さい。（「スパン材」「縦見付け」の取付けがしにくくなります）

- ① 天井見切り（側）を天井上枠（側）に取付けます。
奥行により部材長さが異なりますので、上枠の下孔に合うよう見切材を取付けてください。



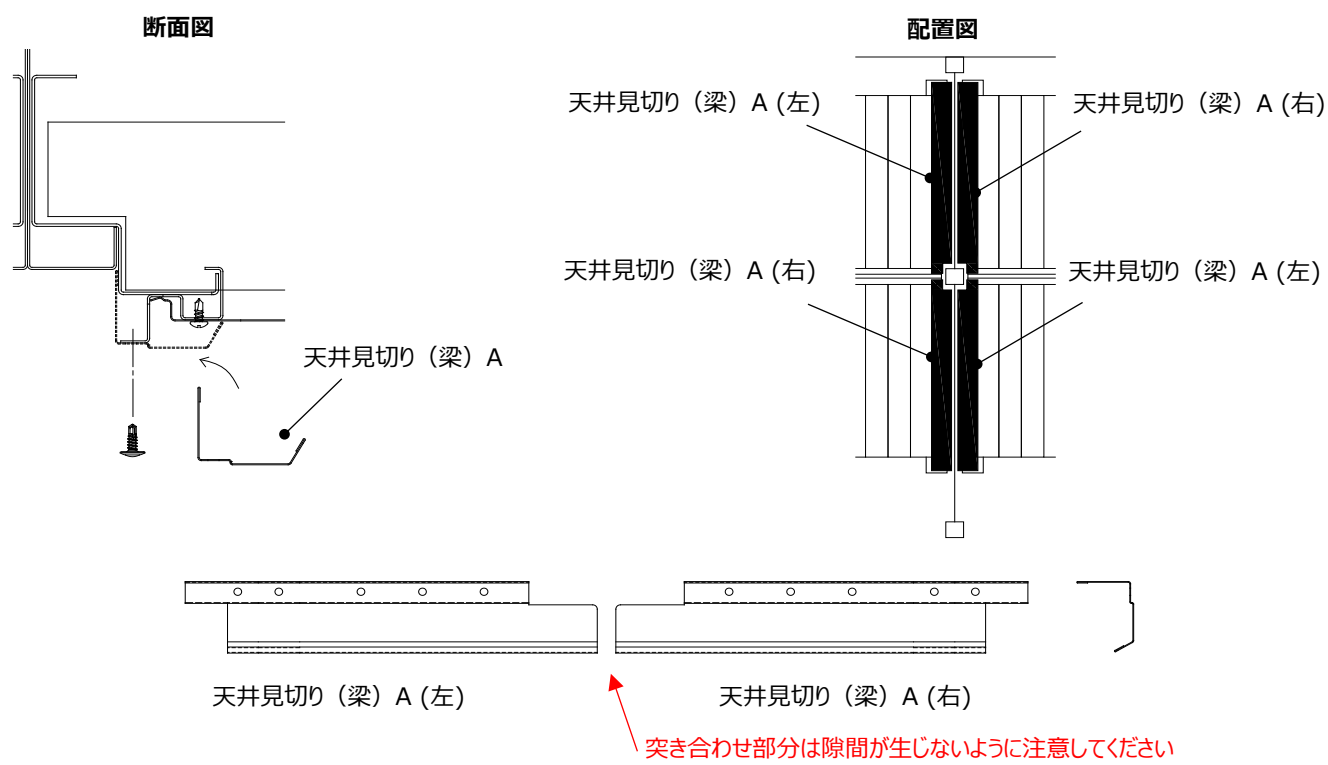
8-2. 天井見切り（梁）の取付け【連棟：一本梁タイプのみ】

- ① 天井見切り（梁）Bを天井梁に取付けます。
奥行により部材長さが異なりますので、天井梁の下孔に合うよう見切材を取付けてください。



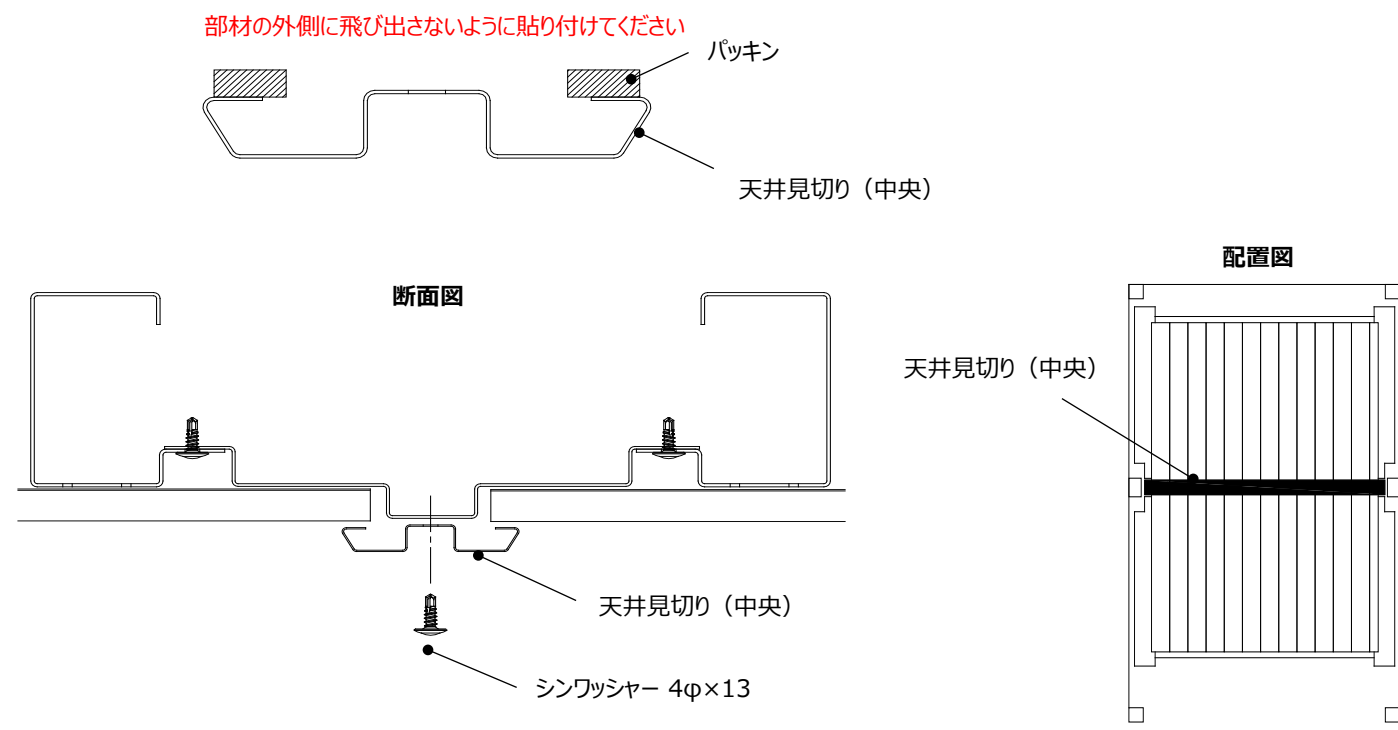
8-3. 天井見切り（梁）の取付け **【連棟：間仕切り・中間ブレースのみ】**

- ① 天井見切り（梁）A を天井梁に取付けます。
奥行により部材長さが異なりますので、上枠の下孔に合うよう見切材を取付けてください。



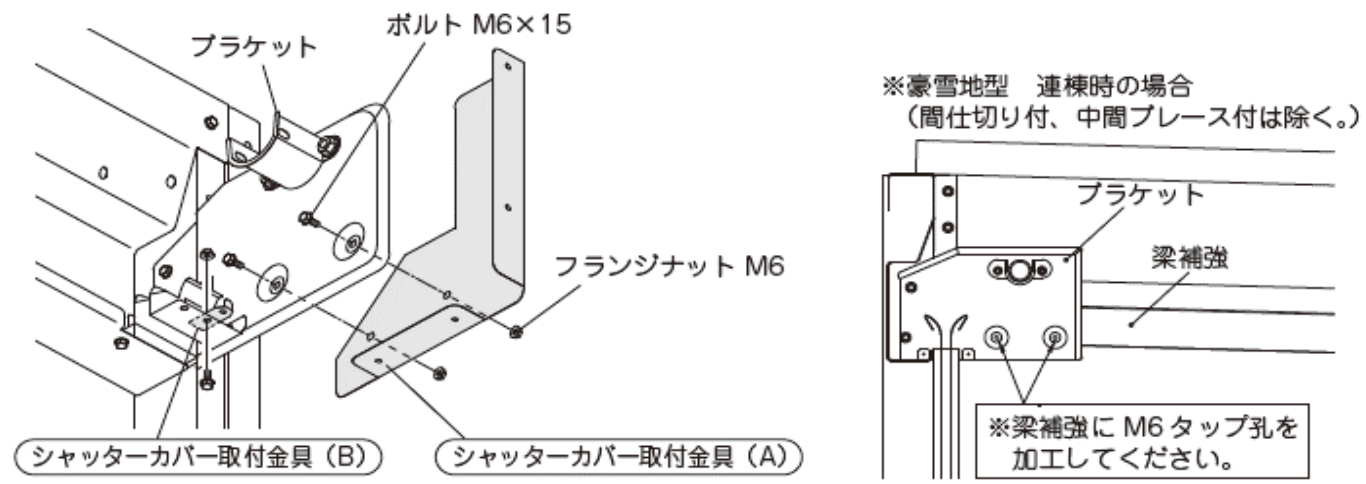
9. 天井見切り（中央）の取付け

- ① 天井見切り（中央）にパッキンを貼り付けます。
間口30以上の場合はパッキンを継いでください。
② 天井見切り（中央）を天井見切り下地（中央）に取付けます。



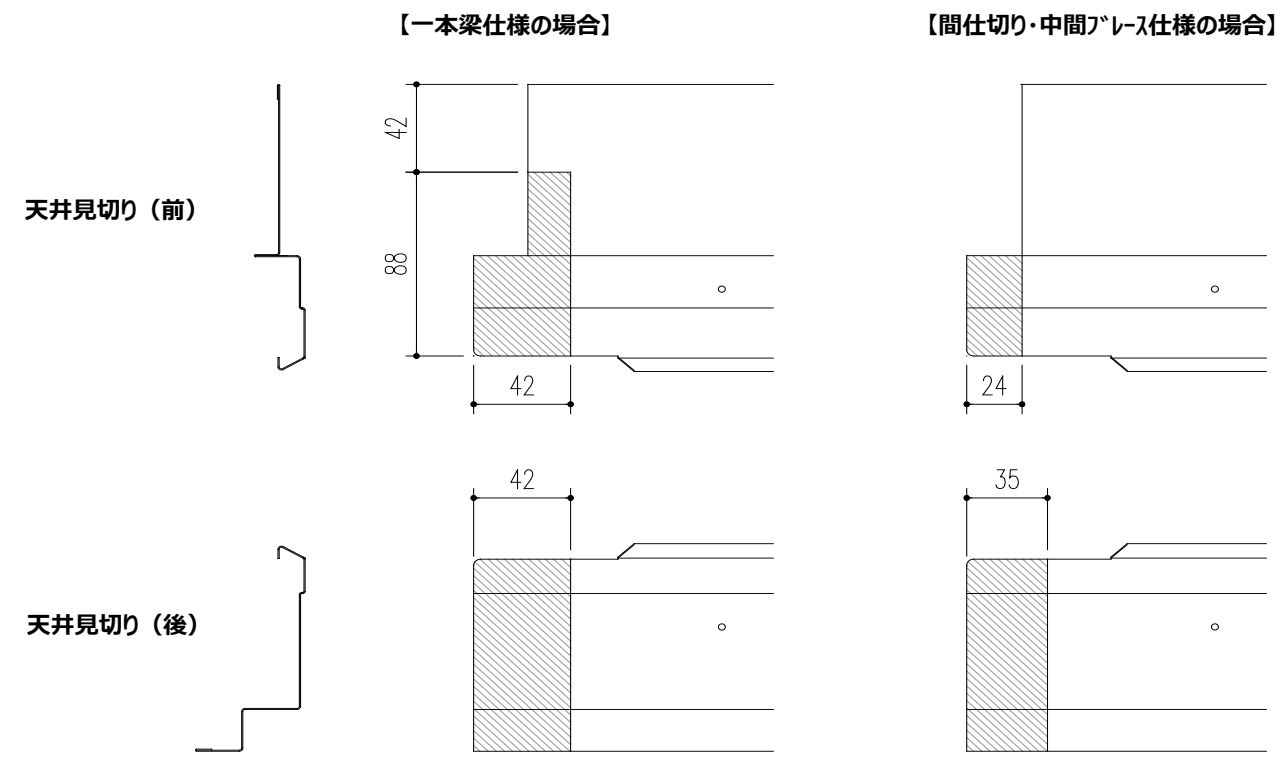
10. シャッターカバー取付金具の取付け **※目隠しが付く場合は不要です**

- ① シャッターカバー取付金具（A）,（B）をブラケットに取付けます。
※豪雪地型で連棟の場合、シャッターカバー取付金具（A）の取付けには、現地加工が必要です。
ブラケットの孔に合わせて梁補強に5mmφの孔を明け、M6 タップ加工をしてください。
次にブラケットと梁の間に挟み込むように シャッターカバー取付金具（A）をボルトM6×15で固定してください。



11. 天井見切り（前）（後）の加工 **【連棟の場合のみ】**

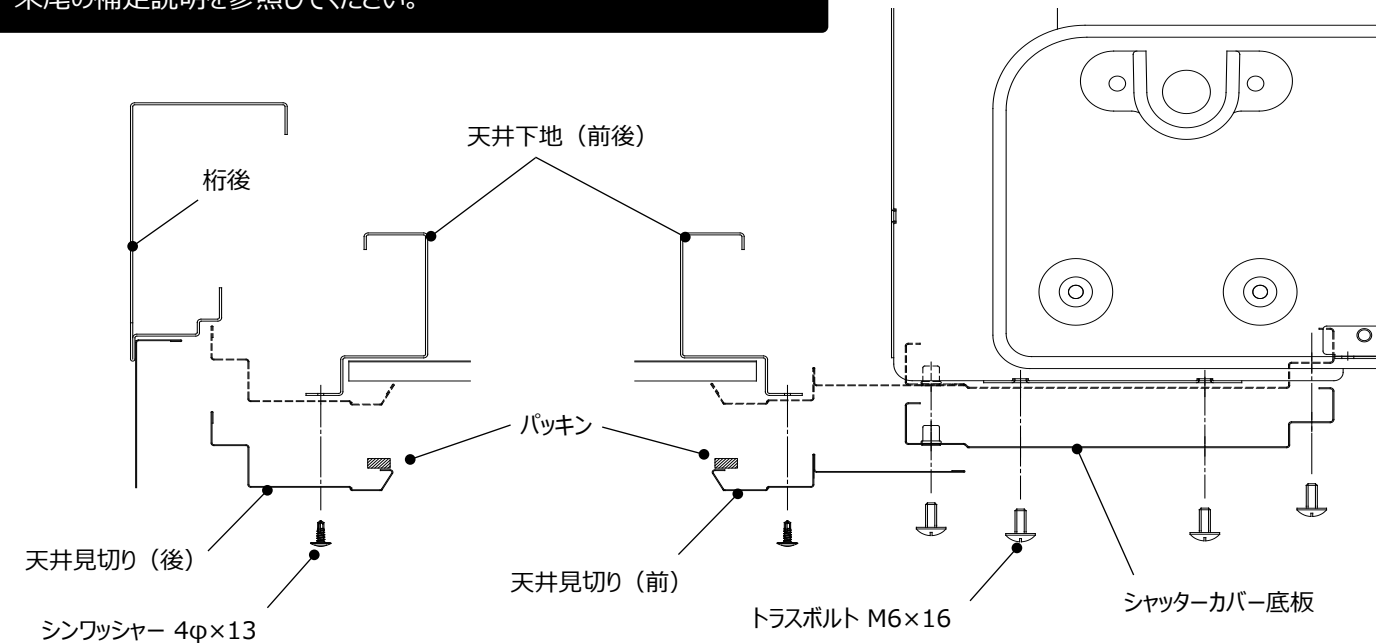
- ① 連棟の場合、天井見切り（前）、（後）の連結側の端部を下図のように切り欠きます。
② 加工部は補修を行なってください。配置は工程 1 2 を参照してください。



12. シャッターカバー底板、天井見切り（前）（後）の取付け

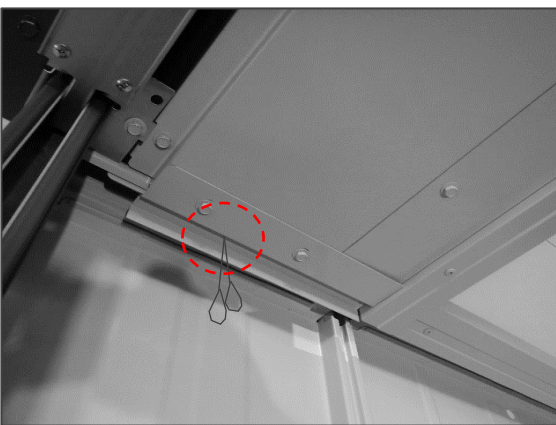
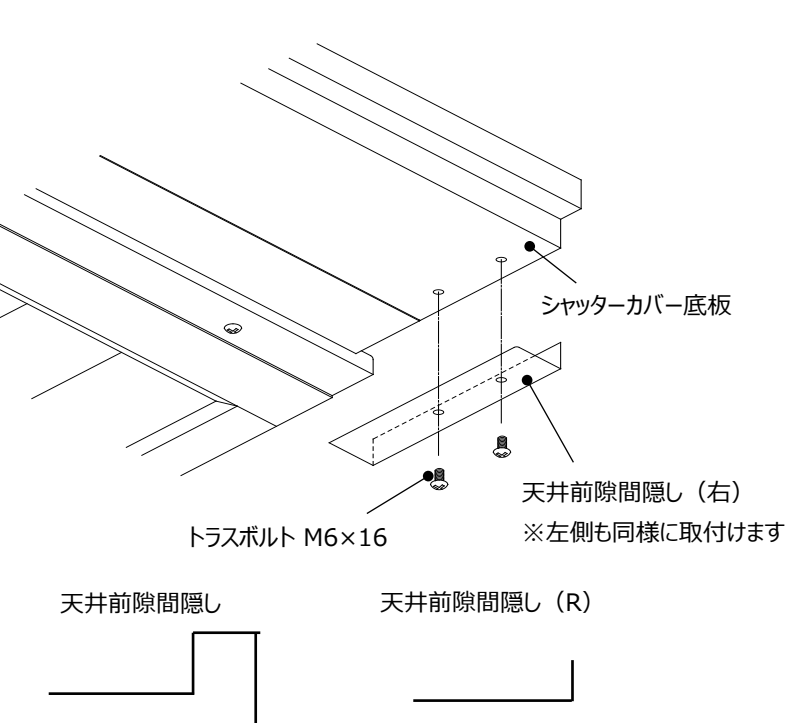
- ① 天井見切り（前）、（後）にパッキンを貼り付けます。
パッキンが部材の外側に飛び出さないように貼り付けてください。
- ② シャッターカバー底板をシャッターカバー取付金具に取付けます。
- ③ 天井見切り（前）を天井下地（前後）、シャッターカバー底板に取付けます。
- ④ 天井見切り（後）を天井下地（前後）に取付けます。

目隠し、後面シャッターが付く場合は取付け方法が異なりますので
末尾の補足説明を参照してください。



13. 天井前隙間隠しの取付け

- ① 天井前隙間隠しをシャッターカバー底板に取付けます。ボルトは一旦取り外して下さい。
連棟で中間ブレース、間仕切り仕様の場合は、連結部側に天井前隙間隠し（R）を取付けます。
連棟で一本梁仕様の場合は、連結部側には取付けません。



電動シャッターの場合、側面部のクラッチワイヤーは
○部の角孔を通して下に垂らしてください

14. 完成

最後に、ボルト等の緩みがないかもう一度確認してください。
工事完了後は切粉を取り除いてください。



天井材 後面シャッター部分
取付要領

- ・ 本体、各オプションの組み立ては完了しておいてください。
- ・ 本書は「天井材 組立説明書」と合わせてお読みください。
- ・ 本書は「後面シャッター」部分への天井材の取付けを説明しています。

部材表

標準部材に加え、下記梱包が追加されます。

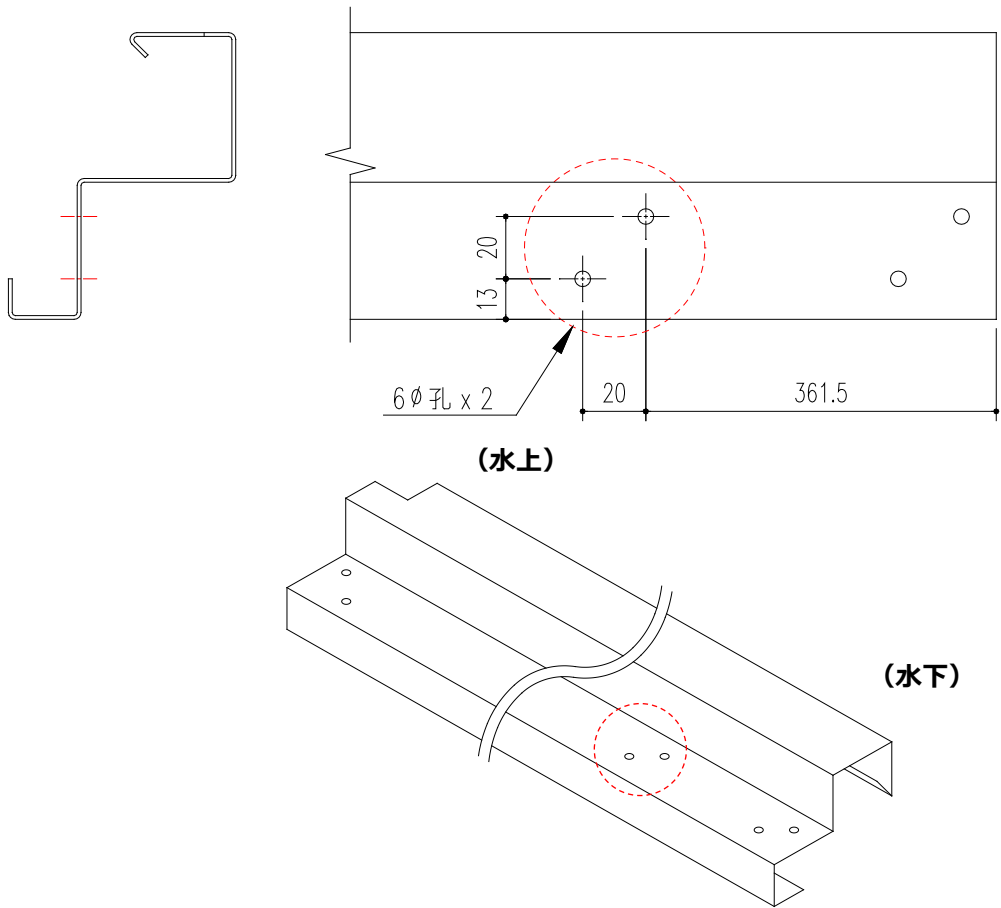
機種	梱包番号	部材名	数量
間口19 間口26 間口30 間口33	VG4-8531-KS VG4-8532-KS VG4-8533-KS VG4-8534-KS	VGC 天井見切り 後 KS 19～33	1
		VGC 天井シャッターカバー側板 KS 19～33	1
		VGC シャッターカバー底板 TR 19～33	1
		シャッターカバー取付金具 A	左右各 1
		シャッターカバー取付金具 B	2
		M6ナット	6
		トラスコネジ M6x16	17

1. 天井部材の加工

- ① 後面シャッターが取り付け面の部材を、下記にしたがって部材を加工します。
木口には補修を行ってください。
- ※ 部材には向きがありますので注意してください。
 - ※ 後面シャッターが取り付けられない面の加工は不要ですので、連棟の場合は注意してください。

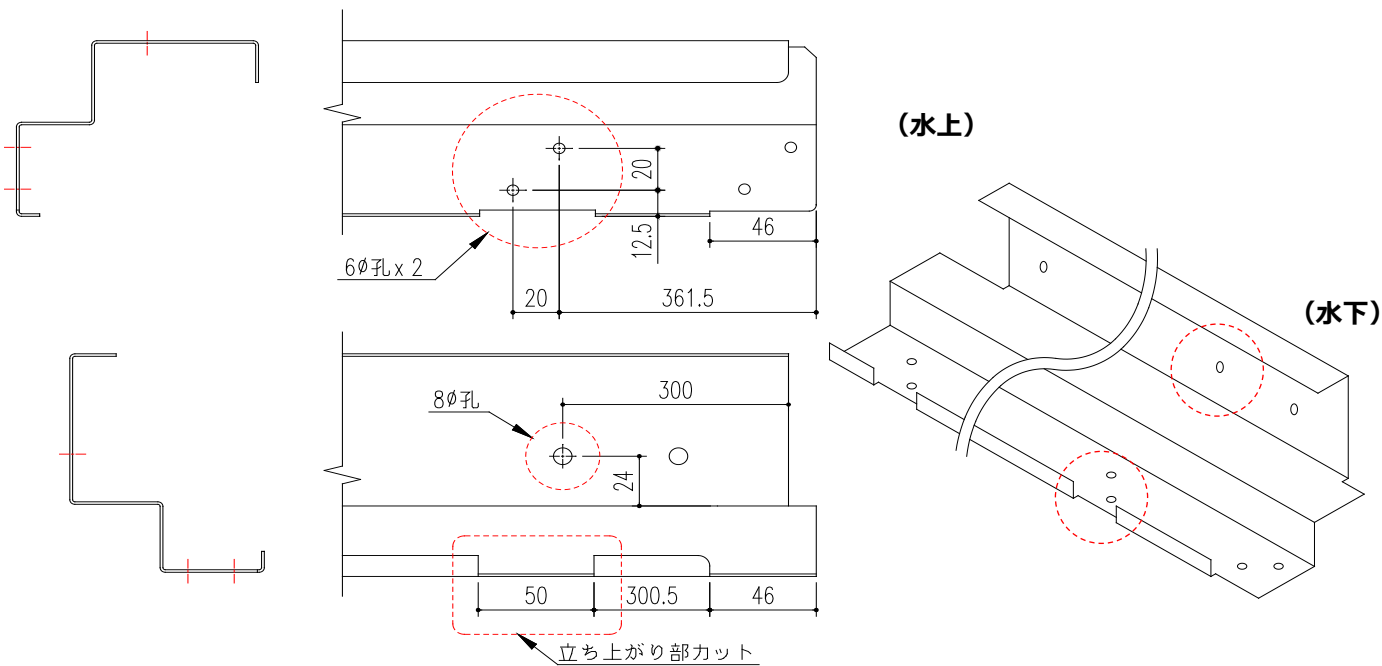
【天井上枠（側面部）の加工】

- ・ 後側の下記位置に孔加工を行ってください。



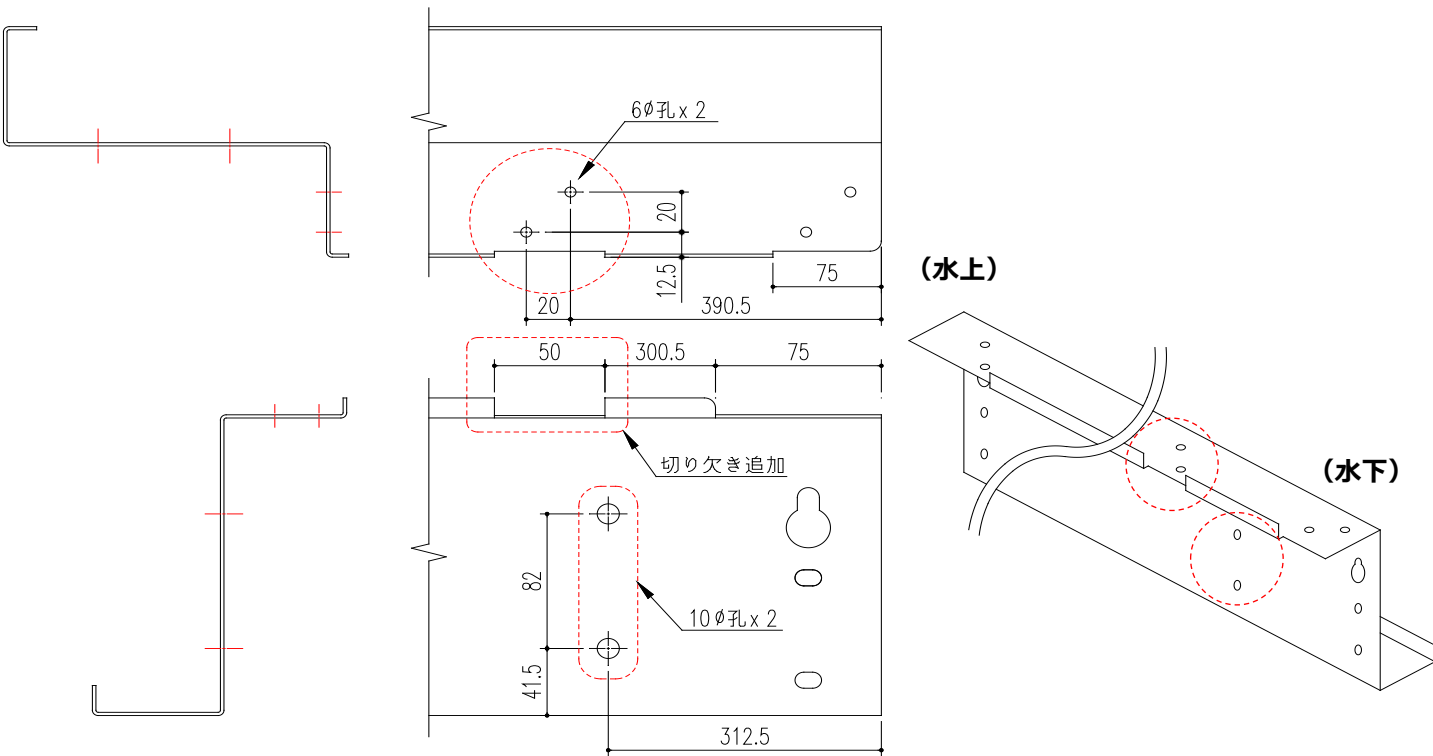
【天井上枠（連結部）の加工】 ※連棟タイプ（間仕切り・中間ブレース）のみ

- ・ 後側の下記位置に孔加工と切り欠きを行ってください。



【天井上枠（連結部）の加工】 【天井上枠（連結部）の加工】 ※連棟タイプ（一本梁）のみ

- ・ 後側の下記位置に孔加工と切り欠きを行ってください。



2. 天井上枠・梁の取付け

- ① 「天井材 組立説明書（工程 1， 2）」に従い、天井上枠、天井梁を取り付けます。
- ※ 連棟（一本梁）の場合、**天井梁取り付け金具B** の位置が変わりますので注意してください。
また仮預けがありませんので、取付けには注意をお願いします。
- ※ 天井梁 と 天井梁取り付け金具B の固定は **M8×21mm** のボルトを使用してください。
M8×25mmのボルトを使用すると本体梁に干渉します。

3. 天井下地の取付け

- ① 「天井材 組立説明書（工程 3， 4）」に従い、天井下地を取り付けます。
後側の天井下地（前後）は、上枠・梁に追加加工した6φ孔で固定してください。

4. 天井パネルの取付け

- ① 「天井材 組立説明書（工程 7）」に従い、天井パネルを取り付けます。
後側の天井パネルは標準仕様より短いので、連棟の場合は注意してください。

パネル寸法表

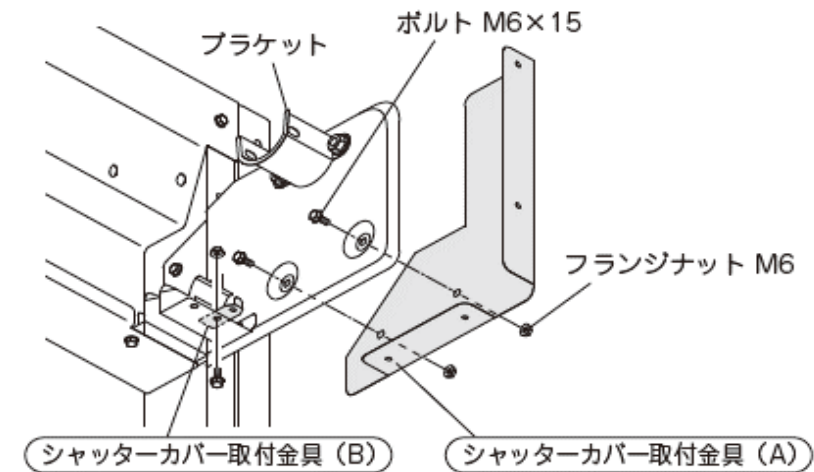
本体奥行	後側	
52	2120	mm
55	2120	mm
59	2470	mm
62	2470	mm

パネル枚数表

本体間口	後側枚数
19	12
26	17
39	20
33	22

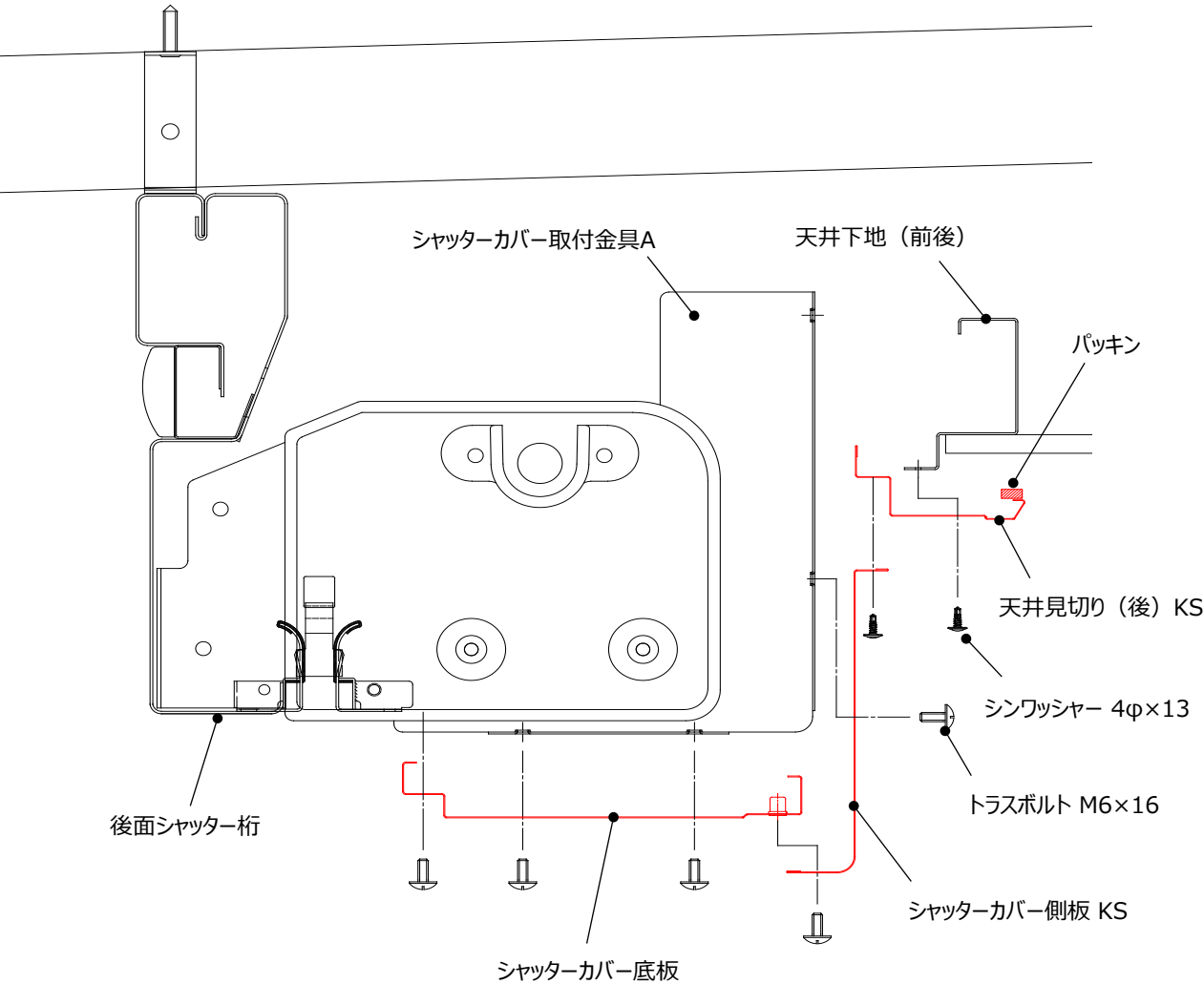
5. シャッターカバー取付金具の取付け

- ① シャッターカバー取付金具（A）,（B）をブラケットに取り付けます。



6. 天井見切り 後 KS・シャッターカバーの取付け

- ① 天井見切り 後 KS にパッキンを貼り付けます。
パッキンが部材の外側（庫内）に飛び出さないように貼り付けてください。
- ※ **天井見切り 後** は使用しません。
- ② シャッターカバー底板をシャッターカバー取付金具に取り付けます。
- ③ 天井見切り 後 KS を天井下地（前後）に取り付けます。
- ④ シャッターカバー側板 KS をシャッターカバー底板、シャッターカバー取付金具、天井見切り 後 KS に取り付けます。



天井材 目隠し部分 取付要領

- ・ 本体、各オプションの組み立ては完了しておいてください。
- ・ 本書は「天井材 組立説明書」と合わせてお読みください。
- ・ 本書は目隠し部分への天井材の取付けを説明しています。

部材表

標準梱包（VG4-8531～8534）から差し替えて、下記梱包が追加されます。

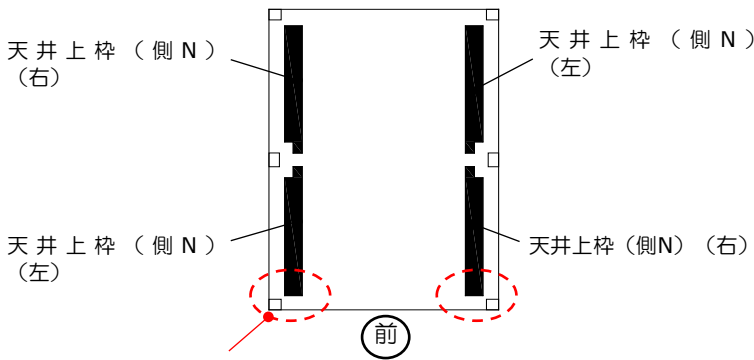
機種	梱包番号	部材名	数量
間口19	VG4-8531-MK	VGC 天井見切り MK 19～33	1
間口26	VG4-8532-MK	VGC 天井見切り 後 19～33	1
間口30	VG4-8533-MK	VGC VGC 天井見切り 中央 19～33	1
間口33	VG4-8534-MK	VGC 天井見切り下地 中央 19～33	1
		ソフトテープ（2.5m）	4

1. 天井上枠（側）の取付け

- ①「天井材 組立説明書（工程 1）」に従い、天井上枠、天井梁を取り付けます。
- ※ 前（水上側）の部材長さが標準とは異なりますので注意してください。
- ※ 水上側の部材寸法がシャッター側より350mm長くなり、柱との隙間は生じません。

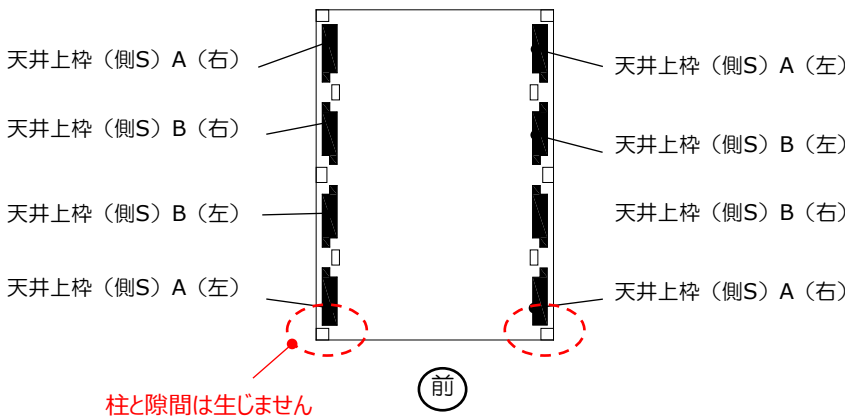
配置図

（一般地型の場合）



柱と隙間は生じません

（豪雪地型の場合）

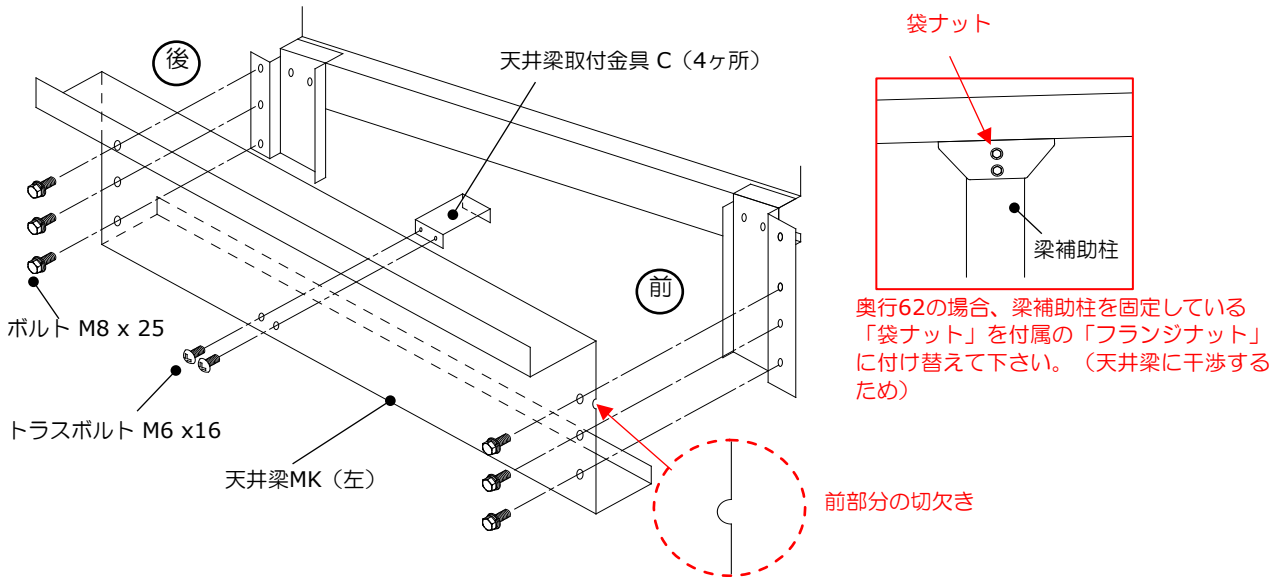


柱と隙間は生じません

2. 天井梁の取付け

【連棟の場合のみ】

- ①「天井材 組立説明書（工程 2 A）」に従い、天井梁を取り付けます。
- 天井梁カバーを取付けませんので、ボルトはすべて固定してください。
- ※ 連棟（一本梁）の場合、**天井梁取り付け金具A** の位置が変わりますので注意してください。
- ※ 部材長さがシャッター側より350mm長くなります。

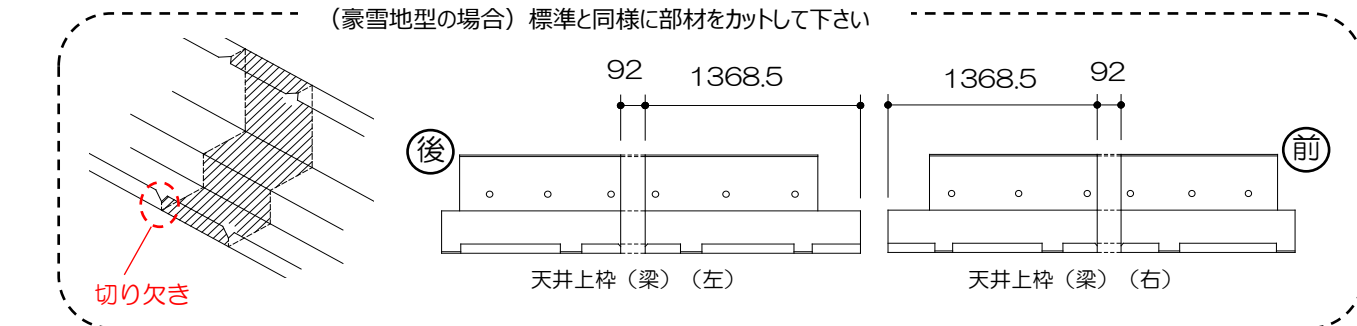


3. 天井上枠（梁）の取付け

【連棟の場合のみ】

- ①「天井材 組立説明書（工程 2 B）」に従い、天井下地・天井上枠（梁）を取り付けます。
- ※ 水上側の部材寸法が部材寸法がシャッター側より350mm長くなります。

前側の部材寸法	
本体奥行	前側
52	2449 mm
55	2799.5 mm
59	2799.5 mm
62	3150 mm



4. 天井下地・天井パネルの取付け

- ① 「天井材 組立説明書（工程 3 ～ 7）」に従い、天井下地・天井パネルを取り付けます。
※ 水上側の部材寸法が部材寸法がシャッター側より350mm長くなります。

パネル寸法表

本体奥行	前側
52	2470 mm
55	2820 mm
59	2820 mm
62	3170 mm

パネル枚数表

本体間口	前側枚数
19	12
26	17
39	20
33	22

5. 天井見切り（側）、（梁）の取付け

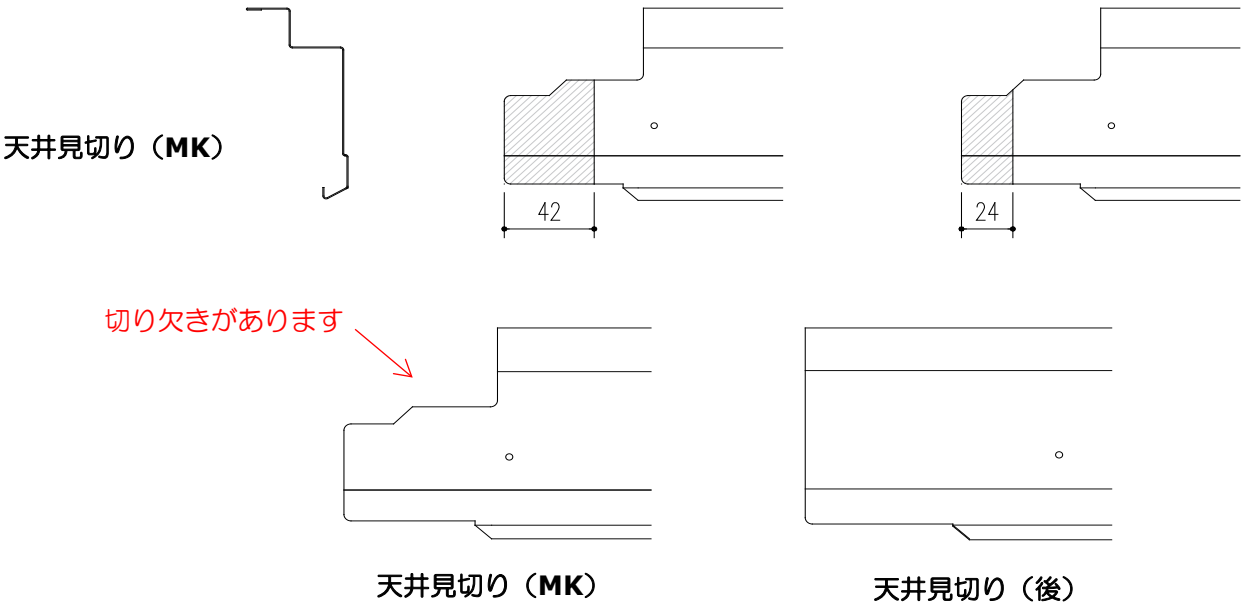
- ① 「天井材 組立説明書（工程 8）」に従い、天井見切り（側）、（梁）を取り付けます。
※ 水上側の部材寸法が部材寸法がシャッター側より350mm長くなります。

6. 天井見切り（MK）、（後）の加工 【連棟の場合のみ】

- ① 天井見切り（MK）、（後）の連結側の端部を下図のように切り欠きます。
目隠し仕様の場合、天井見切り（前）が天井見切り（MK）に差し替えとなります

【一本梁仕様の場合】

【間仕切り・中間ブレース仕様の場合】



7. 天井見切り（MK）（後）の取付け

- ① 天井見切り（MK）にパッキンを貼り付けます。
パッキンが部材の外側（庫内）に飛び出さないように貼り付けてください。
② 天井見切り（MK）、天井見切り（後）を天井下地（前後）に取付けます。

